

**外交・安全保障調査研究事業費補助金  
補助事業実績報告書**

※本報告書のほか、事業成果をアピールする資料（パワーポイントや動画等自由書式。最大3枚/3分程度）を提出すること。

（※当該資料は、単なる活動報告にしないこと。事業の新規性、研究成果によって得られた新たな知見及びそれに基づく政府へのアウトプット・提言等、事業成果について記載すること。）

1. 基本情報	
事業者名 東京大学先端科学技術研究センター	
事業区分・テーマ	※事業区分（発展型総合事業・総合事業・調査研究事業）及びテーマを記載。発展型総合事業『『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化』
事業名及び事業概要	※事業計画書の該当部分を転載。 ロシアのウクライナ侵略は何故起こり、国際秩序にどのような影響を与えたのか、日本のいかなる安全保障政策が求められるのか、総合的で戦略的な調査研究・提言を行う。産学官の連携や振興技術の積極的な活用により、我が国の外交・安全保障研究を質的に新たな段階に引き上げ、若手・女性・地方在住研究者の発掘・登用を独自の取組みを通じて行い、我が国の研究能力を底上げし、国際ネットワークの発展と対外発信力の強化を図る。
事業実施期間	※下記の期間から1つを選択し「○」を記入  <input type="checkbox"/> 1年間（    年度） <input type="checkbox"/> 2年間（    年度～    年度）（うち    年目） <input checked="" type="checkbox"/> 3年間（令和5年度～7年度）（うち    1 年目）

## 2 事業の成果（アウトカム）

評価要綱3の項目につき、以下①、②の自己評価を記載すること（分量は自由）。

（※ 活動実績の詳細や定量的実績は下記「3-1」～「4-2」の欄に記載すること。）

- ① どのように取り組み、どのような成果があったか（工夫を凝らした点、前年度の事業から改善した点を含む）。
- ② どの部分につき進展・成果が不十分であったか。その原因、次年度での改善方法。

### （1）補助事業の成果

（基礎的情報収集・調査研究（外交に資する政策志向の研究とし、政策提言を含む。）

- 他の類似事業と比べて新規性があったか。研究成果により新たな知見が得られたか。また、外交に資する政策志向の研究がなされたか。

- ① 本事業では、地域研究を中心とした4つの分科会と、新興テクノロジーと安全保障の関係に重点を置く5つの分科会・タスクフォースによって、ウクライナ戦争勃発以降の政治・経済・外交・安全保障の状況を多角的に明らかにすることを目指した。内訳は以下のとおりである。

#### <地域研究系分科会>

- ・分科会「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展望・帰結」
- ・分科会「ユーラシア諸地域の内在論理」
- ・分科会「中東・イスラーム世界の多極化と均衡」
- ・分科会「広域中央アジアの重畳化する安全保障環境」

#### <テクノロジーと安全保障に関する分科会・タスクフォース>

- ・文理横断タスクフォース「国際紛争のデータ・ビジュアライゼーション」
- ・「衛星画像分析研究プロジェクト」（上記タスクフォースのサブプロジェクトの位置付け）
- ・分科会「情報・認知領域の安全保障」
- ・分科会「日米統合防衛戦略」
- ・文理横断タスクフォース「ロボティクス・仮想現実・拡張現実と安全保障」

このほかに、本事業ではシミュレーション会議「ロシア・ウクライナ戦争の影響分析」を実施し、以上の各分科会・タスクフォースを横断する、実践的研究の場とすることを掲げた。

以上のうち、4つの地域研究系分科会は予定通りに発足し、研究活動を立ち上げる  
ことができた。

「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展望・帰結」では、交戦当事国であるロシアとウ  
クライナの専門家だけでなく、欧州地域の研究者、エネルギー専門家、安全保障専門  
家などを幅広く巻き込んだ構成とした。今次の戦争を現在進行形で、なおかつ多角的  
な視点から理解し、検討する体制であり、本事業の大きな特色と言える。また、本事  
業の枠内では、マイケル・コフマン（カーネギー財団、ロシア軍事専門家）を招いた  
ワークショップを行うとともに、他事業との合同でトルコ及びエストニアでのシンポ  
ジウム・ワークショップを実施した。これによって、国際的議論の中心へとつながる  
新たなネットワークやチャンネルを構築することができた。本分科会は、現在進行中  
の戦争、それも日本の隣国がかかわる戦争を扱う点で特異である。本分科会の議論は  
戦争の軍事的特徴や展望から、政治・経済・エネルギー面で日本がとるべき方策など  
広範に渡っており、その成果は日本の政策形成に大きく貢献したと自負する。また、  
本分科会の特に政策志向的な性格に鑑みて、今後は提言類の発出も活発に行いたいと  
考える。

分科会「ユーラシア諸地域の内在論理」は、令和2年度外交・安全保障調査研究事業  
費補助金（総合事業）「体制間競争の時代における日本の選択肢」において設立された  
同名の分科会を引き継いだものである。本分科会の大きな特徴は、「ユーラシア」とい  
う言葉を単に世界大国（ロシア・中国等）に代表させることなく、それら世界大国と  
地域大国・中小国の関わりや、米露対立・米中対立と地域大国・中小国の関わりの把  
握に力を注いでいる点である。この方針は、研究会合の運営のみならず、インドネシ  
アをテーマとした国際ワークショップの開催やトルコ・エストニアでのシンポジウ  
ム・ワークショップ（他事業と合同で実施）にも反映されており、基礎的情報収集と  
知見の蓄積という目的をよく果たしたと考える。

分科会「中東・イスラーム世界の多極化と均衡」は、中東諸国との関係強化に重点を  
置いて活動を行った。特にイスラエルおよびトルコとの戦略的な国際学術協力の実行  
主体・受け皿として、イスラエル首相外交顧問の招へい、ヨルダン国王の外交顧問の  
招へい（2024年1月）を実現させ、日本の対中東トラックII外交の担い手としての役  
割を確立した。これはイスラエル・ハマース紛争の戦闘終結後において、国際的な和  
平枠組みの構築に貢献することを念頭に置いたものである。エジプトのシナイ半島駐  
留多国籍部隊・監視団（MFO）事務局長や、カイロ紛争解決・平和維持・平和構築セ

ンター所長の来日に際しては、日本側の専門家や実務家との非公開ディスカッションの場を設けた。

本分科会ではイスタンブールとアンカラにおける国際会議を実施し、ウクライナ問題に関する日本とトルコのしばしば対照的な姿勢を対照させ、擦り合わせる機会を設けた。また、2024年の日本・トルコ国交百周年に際しての戦略的な二国間協力に積極的・主導的に関わり、中東国際政治の中での日・トルコ関係の再構築を学術的な主体として担っている。

**分科会「広域中央アジアの重畳化する安全保障環境」**では、中央アジア 5カ国に加えて、アフガニスタン、中国新疆ウイグル自治区、イラン東部、パキスタン北部をも射程にとらえる広域中央アジア（GCA）の地域概念を導入した。そのうえで、広域中央アジアが直面する環境安全保障、エネルギー安全保障、海洋安全保障、テロ問題、サイバーセキュリティといった諸課題の相互作用に重点を置いて研究を推進することを目的に掲げた。以上の目的を達成するため、本分科会には中国やロシアの専門家、さらにエネルギーや農業といった政治分野以外の専門家をメンバーに加えた。第1年目は研究会合の開催に加えて現地調査を行い、資料収集・現地研究機関とのコネクション構築などの成果を上げた。

テクノロジーと安全保障の関わりについては、**文理横断タスクフォース「国際紛争のデータ・ビジュアライゼーション」**の活動が立ち上がった。東京大学情報学環の渡邊英徳研究室と合同で衛星画像や統計情報を駆使して国際紛争の実態を解明し、なおかつ直感的に理解できるよう可視化（ビジュアライゼーション）することを目指す文理横断的な安全保障研究プロジェクトである。言い換えるならば、研究成果をいかにして広く、深く人々に届けるのがここでの問題意識であり、これは国際世論形成や国民の理解増進に直結するものである。第1年度においては以上の手法に関する知見の交換や今後の応用可能性に関するフィージビリティ・スタディを中心とし、特にGIS（地理空間情報）を用いた安全保障研究について今後の進め方を概ね確定することができた。

同タスクフォースのサブグループとして、「**衛星画像分析研究プロジェクト**」を立ち上げ、日本の安全保障上の課題を光学／合成開口レーダー（SAR）画像によって実証的に検証するという試みも開始した。従来、この種の分析は米国の大学や研究機関によるものが参照されることが多かったが、2022年12月に決定された『国家安全保障戦略』で指摘されている中国・北朝鮮・ロシアの3つの懸念国に関しては、我が国で

も独自の分析が行われ、広く政策立案や国民的議論の土台が提供されるべきではないか。このような問題意識に応え、本サブグループでは中国が建設中の ICBM 基地を光学/SAR 画像で観測してその実態を明らかにするとともに、日本の安全保障に関するインプリケーションを成果物にまとめることができた。

なお、「国際紛争のデータ・ビジュアライゼーション」と「衛星画像分析研究プロジェクト」には日本の国内衛星画像ベンダー社員が連携研究員として参画するとともに、後者については笹川平和財団との合同プロジェクトとして実施された。このような、実務と研究の横断、研究機関間の連携強化という観点でも大きな成果があったと考える。

分科会「情報・認知領域の安全保障」では、台湾・カナダ・イスラエル・日本の専門家を一堂に集めた「ファクトチェック・シンポジウム」を開催するとともに、ロシア諜報史の専門家であるトーマス・リッド教授（ジョン・ホプキンス大学教授）を招いたワークショップを実施した。前者に関しては日本でも最大規模の国際研究集会となり、情報・認知領域安全保障に関する最先端の知見の蓄積、国際的なネットワークの構築に関して大きな成果を挙げたほか、これを実際に政策に実装するための手法開発についても見通しが得られた。後者については研究者だけでなく公官庁の実務者を招くことで、最新の知見と実務をつなぐ役割を果たせたと考える。

最後に、以上の分科会・タスクフォースの成果を統合して検証するため、シミュレーション会議「ロシア・ウクライナ戦争の影響分析」の実施に向けた準備が行われた。各分科会・タスクフォースの座長を集めた準備会合において、東京外国語大学の吉崎教授より具体的な実施方法に関するレクチャーを依頼し、2年度目以降の実施に向けた方針や必要な準備・方法論等について知見を得ることができた。

また、本会合は本事業に対する各座長の意見聴取の場ともなり、分科会・タスクフォース間のシナジーや Web サイトの閲覧性など、多くの改善要求が寄せられた。今後の活動方針に関して貴重な知見を得ることができたと考えている。

1年度めの大きな反省点として、一部のプロジェクトの立ち上げが遅れたことが指摘できる。分科会「日米統合防衛戦略分科会」については日米の安全保障研究者を集めて防衛力の定量的な評価を行う手法の開発を目指した関係上、人選・手法の構想・予算見積もり等に時間がかかった。座長の村野ハドソン研究所研究員との間で予備的な会合を繰り返した結果、当初想定された実施方針は体制・予算の面で困難であるとの見込みが強まった。文理横断タスクフォース「国際紛争のデータ・ビジュアライゼ

ーション」についても予備的な会合を実施したものの、具体的な研究活動に入ることができなかった。

以上の事態は、非常に重く受け止められるべきであると認識している。その根本的な原因を考えるに、ROLES の事務リソースを超えた数の分科会を設置してしまったこと、他の事業と重複するテーマの分科会が存在したために、差別化の方向性が見出せなかったことが挙げられよう。したがって、第 2 年目においては、現在の分科会・タスクフォースのあり方を改革する。具体的には、分科会やタスクフォースといった煩雑な区別をやめて全て「研究会」とし、その数も実施可能なものに限ることとした。新たな構成は以下のとおりである。

- ・研究会「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展望・帰結」
- ・研究会「ユーラシア諸地域の内在論理」
- ・研究会「中東・イスラーム世界の多極化と均衡」
- ・研究会「広域中央アジアの重畳化する安全保障環境」
- ・研究会「国際紛争のデータ・ビジュアライゼーション」
- ・研究会「衛星画像分析を用いた安全保障研究」
- ・研究会「新興テクノロジーと安全保障」

また、2023 年度中は会合の立ち上げや海外調査などに時間が費やされ、成果物がやや少なかった。2024 年度以降は、2023 年中になされた報告や調査に基づくものも含め、成果物の取りまとめにも留意したい。前述のとおり、研究会「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展望・帰結」からはなるべく早期の政策提言発出を目指す。

- 事業テーマ及び補助事業者の企画に基づき、情報収集及び調査研究が的確に行われたか。

- ① 地域研究分科会は 4 つとも予定通りに発足し、ユーラシア大陸内における政治・経済・外交・安全保障の状況を多角的に明らかにできる議論の場を形成することができた。このうちの、分科会「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展望・帰結」と分科会「中東・イスラーム世界の多極化と均衡」については、その実施期間中にウクライナ戦争とイスラエル＝ハマス紛争が勃発したことにより、現在進行中の紛争を専門家がリアルタイムに議論するプラットフォームとして機能している。分科会「ユーラシア諸地域の内在論理」及び分科会「広域中央アジアの重畳化する安全保障環境」についても研究会合を定期的実施し、特に我が国の外交・安全保障政策において焦点と言える中国とその周辺諸国の相互作用について動的な理解を可能とする知見を蓄積す

ることができた。

文理横断タスクフォース「国際紛争のデータ・ビジュアライゼーション」では地理空間情報（GIS）ソフトやビジュアライゼーション用アプリケーションの使用法の習得が行われており、「衛星画像分析プロジェクト」の成果公表にも生かされる予定である。本タスクフォースはロシア・ウクライナ戦争のみならず、トルコ・シリア大地震の被害状況や、イスラエル・ハマス紛争の情勢評価といった新たに生起する課題に即応し、分析結果を SNS を通じて一般社会や主要メディアに早期に発信するとともに、データに基づいた視覚的なメディア報道を広範に普及させるのに大きな役割を果たした。また、「中東・イスラーム世界の多極化と均衡」分科会と連携し、中東工科大学やイスタンブール工科大学と連携しながらデータビジュアライゼーションの手法を歴史学や国際政治学に応用する手法の開発を進めている。

「衛星画像分析プロジェクト」については、Maxar 社の高分解能光学画像と国内衛星ベンダーの SAR 画像を用いてカムチャッカ半島のロシア原潜基地や北方領土駐留ロシア軍、中国内陸部の大陸間弾道ミサイル（ICBM）基地、南シナ海周辺における中国の海洋進出の実態などを観測し、本事業の問題意識に則した知見の蓄積ができた。また、衛星画像と学術的知見の結合は我が国においてほとんど進んでおらず、この意味でも先駆的なプロジェクトとなった。

- ② 前述のように、「日米統合防衛戦略分科会」や文理横断タスクフォース「ロボティクス・仮想現実・拡張現実と安全保障」は発足に向けた準備作業の途上であり、手法開発に向けた初歩的な情報収集の段階に留まった。その対策として分科会・タスクフォースを整理統合する方針を決定したことは前述のとおりである。

また、2023 年度中にはシミュレーション会議「ロシア・ウクライナ戦争の影響分析」の予備会合を実施し、2024 年度以降の本格的な政策シミュレーション実施へと繋げるための基礎を得た。これまでの検討ではウクライナ戦争停戦シナリオのシミュレーションが有力視されており、日本政府としての対応等を複数シナリオで検証することを計画している。

（機動的かつタイムリーな国内外への発信）

- 海外のシンクタンクの動向も参考に、広報責任者を設置する等の措置を講じて、訴求対象ごとに、発信のタイミング、形式、内容等を工夫し、戦略的な発信に意を用いているか。

- ① 広報責任者を置き、刊行物の発行などに専任させる体制を立ち上げた。

海外シンクタンクの情報発信の特徴として、近年、音声や動画による発信の活発化が見られる。本事業もこの点を参考に、Youtube チャンネル「ROLES CAST」を用いた動画配信（研究メンバーによる 10-30 分程度の発信）を実施している。ROLES CAST の登録者数は 8200 人以上に及び、2023 年度中には 3 本の動画が 1 万回以上の再生回数を記録した。

また、日本語と英語で独自のレポートやコメンタリーを発行し、web サイト上で全て無償公開することにより、研究活動の成果が日本及び海外で幅広く参照されるよう配慮している。衛星画像についても、衛星画像ベンダーとの特例契約により、過去のアーカイブ画像を安価に提供してもらうことで高頻度の発信を目指すシリーズ（ROLES SAT ANALYSIS）を開始することができた。

「衛星画像分析プロジェクト」の成果は NHK、BS-TBS 等のテレビ番組でも取り上げられたほか、笹川平和財団と合同でレポートの公表記念番組を作成してインターネット配信した（英語字幕付き）。

- ② 動画配信は撮影・編集に時間がかかるため、発信頻度が空きがちであった。今後は 1 本の時間を短くしたり、研究員が自分の研究テーマに関わる写真や動画を見せながら一人語りをするシリーズなど、低負担でより頻繁な発信が可能となるよう配慮したい。

刊行物については、デザインや出版作業を研究メンバーで分担して実施してきたが、自身の研究のほか事務業務にも労力が割かれるとの問題があった。また、この方式では成果物の発行が各分科会・タスクフォース任せとなり、発行頻度がまちまちなるとの問題も併せて確認された。そこで本事業では新たに出版業界経験者を連携研究員として採用し、広報責任者の下にアウトリーチ委員会を設置して高品質の成果物を安定的に発行できる体制を整えた。

- 補助事業者・研究者個人によるインターネット、SNS 等による広報やセミナー・シンポジウムの実施・参加等を通じ、日本の主張・視点の国際社会への発信が機動的・タイムリーかつ積極的になされたか。その結果として国際世論の形成に参画することができたか。

(※活動内容のみではなく、どのような発信が、どのように国際世論の形成への参画につながったかを総括的に記載すること。)

- ① 本事業の実施主体である ROLES は独自の SNS アカウント（日本語・英語）を持ち、これによって研究成果の発信を随時実施している。また、研究メンバーの多くも

個人アカウントを持ち、こちらでも本事業の成果やイベントの周知が行われている。特に衛星画像分析プロジェクトについては、欧米があまり分析対象としない極東ロシアを観察していることもあり、多くの関心が寄せられている。研究メンバーの国際メディアへの露出も多数に及んでおり、ROLES の活動の進展にしたがって国際世論に日本の声を届ける機会は確実に増加した。

セミナー・シンポジウムについては、2023 年中で最大の成果はトルコで実施された国際シンポジウムであり、中東やウクライナを巡る日本の立場を現地の有識者・専門家らと対面で議論する機会を得た。トルコ側からは、同国が戦略的自律性を追求する姿勢への強い自負と、日本の姿勢が米国追従ではないかとの疑念が度々寄せられたが、これに対して日本側の立場を説明する機会になったと考える（特にウクライナ問題について）。2024 年 2 月にはエストニアでも同様の国際シンポジウムを実施し、ユーラシアの東西において権威主義体制の拡張を抑えるための連携の必要性や日本の対応を説明する機会となった。また、エストニア側からは既に複数の国際連携事業についての打診がなされており、今後の発展の契機を得ることができた。

- ② ROLES で実施している他の事業と比較すると、本事業では英語で実施する国際分科会が少ない。これは、発信・交流よりも研究に重点を置いた結果であると考えられるが、2023 年中には多くの国際連携事業を実施できており、この成果を英語発信と国際世論形成につなげていきたい。

- 補助事業者・研究者個人によるインターネット、SNS 等による広報やセミナー・シンポジウムの実施・参加等を通じ、国民の外交・安全保障に関する理解増進に取り組んだか。また、その反響があったか。

(※活動内容のみではなく、どのような活動がどう国民の理解を増進したのか、どのような反響があったかを総括的に記載すること。)

- ① ロシアのウクライナ侵略やイスラエルとハマスの紛争、台湾海峡問題、北朝鮮の核・ミサイル開発問題といった、世界と我が国を取り巻く外交・安全保障問題に関して、本事業に参画する研究メンバーによる活発な発信が行われてきたほか、ウェビナーやシンポジウムも開催されている。これらの発信・イベントにおいては、単に事実関係を国民に分かりやすく発信するだけでなく、地域研究や安全保障論等の知見を用いて、その背景や我が国として取るべき方策などに関する踏み込んだ提言を行なってきたのが特徴である。

特に分科会「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展望・帰結」の研究メンバーによる発

信は、ロシア・ウクライナ戦争を「どっちもどっち」と片付けず、ロシアによる侵略行為として日本が制裁措置等による対抗策をとるべき客観的理由を国民に対して分かりやすく説明するものであった。同様に、イスラエルとハマスの紛争についても、分科会「中東・イスラーム世界の多極化と均衡」のメンバーによる情報発信が、当該事態に関する国民の理解を大きく増進した。

- ② 事態に着目が集まった後、国民の関心と理解を今後も継続させられるかどうかの一つの課題である。マスメディアが関心を低下させた後も情報発信を継続し、忘却や歪曲に対抗するのは本事業のような学術的活動の使命であろう。この点では前述した Youtube 上での動画配信や SNS などによる発信が鍵であり、今後の更なる充実化を図りたい。

(外国シンクタンク・有識者等との連携、ネットワークを通じた国際世論の醸成への貢献)

- 研究過程における外国シンクタンク・有識者等（在日の有識者、外交官、外国メディア関係者を含む）との定期的な討論や共同研究等を通じ、諸外国の視点や海外シンクタンク・有識者等のネットワークを取り入れた調査研究や、日本の立場や見解に関する外国シンクタンク・有識者等による理解の増進に取り組んでいるか。

(※ 活動内容のみではなく、外国シンクタンク・有識者との連携がどれほど、どのように深められたかを総括的に記載すること。)

(※調査研究事業については本項目の記載は任意。)

- ① 大規模な地域研究プロジェクトを組織したことで、海外の有識者や実務者（在日大使館関係者を含む）との交流が何らかの形で常時行われている、という状態を作ることができた。これは各研究メンバーのコネクションによる場合が多いが、本事業はそのコネクションを日本のアカデミア内に繋ぐ配電盤のような役割を果たしている。

特に本事業の特徴として、旧ソ連や中国、中東などの地域を扱っており、その中でも安全保障に焦点を当てている。これは我が国の『国家安全保障戦略』で指摘された安全保障上の懸念国側から見た視点を理解するという、本事業の大きな目的に沿うものと言える。

- ② 個人ベースでの連携はある程度深まった一方、外国シンクタンクとの組織的な連携については未だ不十分なものがある。この点については前述のとおり、新たな国際連携事業についての契機が 2023 年中に見出せたと認識しており、2024 年はこの点を大きく発展させる年としたい。

- G7、安保理常任理事国以外の国のシンクタンクとの意見交換・セミナー実施を通じて、我が国の情勢認識及び外交施策に関する理解増進、並べに我が国にとり望ましい国際世論の醸成に取り組んでいるか。

(※調査研究事業については本項目の記載は任意。)

- ① 本事業の性質上、研究メンバーが行う意見交換・セミナーの多くは、G7、安保理常任理事国以外の国々との間で実施されている。特に中東を含めたユーラシア地域とは現地調査も含めて多数の往来があり、多くの国の有識者・政府当局者との対話チャンネルを持つ。また、これらの国から有識者・政府当局者の来訪があった場合には、RCAST Security Seminar の枠組みでワークショップを開き、我が国の有識者・政府当局者との間で議論や意見交換の機会を設けるよう努めている。

特に 2023 年度においては、トルコのイスタンブール及びアンカラにおいて公開シンポジウム、セミナー、戦略対話を実施し、中東政治やウクライナ問題について我が国の見方を現地の専門家にぶつける貴重な機会を得た。また、ROLES メンバーを中央アジア諸国（カザフスタン、ウズベキスタン、キルギスの 3 ヶ国）に約 2 週間にわたって派遣し、現地の政府系研究機関等との間で対話を継続しうるチャンネルを開拓する成果を挙げた。エストニアとの連携については上記のとおりである。

- ② 当該地域の事情や考え方を知ることが優先され、我が国としての意見や方針を伝えることが後回しになる傾向がある。プロパガンダと受け取られることは避けつつも、日本を主語とした議論を展開することは今後の方針の一つとなりうる。前述の ROLES メンバーの中央アジア派遣では、ウクライナでの戦争に関して欧米発ではない、アジアからの見方をもっと知りたいという要望が寄せられたところ、今後の世論情勢に向けた大きな足掛かりになると思われる。

## (2) 補助事業の実施体制及び実施方法

- 若手、女性、地方在住研究者を積極的に登用しているか。若手研究者の育成（英語による発信力の強化を含む。）に取り組んでいるか。

- ① 常勤ポストを持たない若手研究者を特任教員・特任研究員として積極的に雇用することで、我が国の知的体力を支える研究人材のプールとしての機能を果たしている（2023 年 12 月 15 日時点で、特任助教 3 名、特任研究員 6 名）。また、学部生・大学院生を ROLES のインターンとして登用し、将来の研究者・実務者の育成にも努めている。

地方在住研究者については、全ての研究会合を対面・オンライン併用（またはオンラインのみ）で実施することにより、地方・海外であっても支障なく研究活動に参加でき

るよう配慮している。また、全ての分科会に女性研究者が参加しており、ジェンダー・バランスにも配慮した。

- ② 衛星画像分析プロジェクトのみ、女性が参加していない。この点についてはちょうどテーマの合う女性研究者が見当たらなかったという事情もあるが、2024年度では国内衛星ベンダーの女性社員を連携研究員とするなど、改善対象とする。また、本年度、新たに特任研究員・特任教員として採用した者も結果的に男性のみとなり、この点についても次回以降の新規採用の際には反省材料として考慮したい。

- 複数の分科会や研究会がある場合、それらの間の有機的な連携が取れているか。

- ① 各分科会の実施に際しては、他の分科会にも案内を出し、クロス出席できるよう配慮している。これに加えて前述のトルコにおけるイベントでは、各分科会や他の事業からも参加者を募る形で、外国との交流だけでなく分科会間・事業間の連携の機会とした。文理横断によるデータビジュアライゼーションの手法開発を、中東国際政治の分析と日本の対中東外交の歴史に関するプレゼンテーションに応用する合同プロジェクトも進んでいる。

また、シミュレーション会議「ロシア・ウクライナ戦争の影響分析」の準備会合を実施して、相互の知見を政策シミュレーションの形で検証する機会を設けた。

- ② 分科会を横断した交流は、現状では研究メンバーの自発性に任されている。この点、研究メンバーを相互の分科会に派遣し研究交流を行うなど、分科会間の連携をより制度化する必要があると思われる。

- 外務省等の関係部局とのコミュニケーションを構築し、政策立案上のニーズを把握し、それを踏まえて効果的にアウトプット・政策提言を行ったか。

- ① 各分科会の研究メンバーは外務省・防衛省・経済産業省等の省庁と常時、研究会やヒアリングを通じた接触を持っている。これらのチャンネルを通じて政府としての外交・安全保障上のニーズを把握するとともに、最新の学術的な知見に基づくアウトプットが常時なされている。このほか、分科会の議論は関係省庁のオブザーバーにも開かれている。

- ② 今後は研究活動の成果を政策提言としてまとめ上げていく作業にも本腰を入れる必要がある。各分科会・プロジェクトが行なっている情報収集や調査研究を読みやすい形に集約し、政策決定の現場において手軽に参照できる成果物としていくことを今後の

課題としたい。また、本事業の終わりには、各分科会から政策提言を行う予定である。

- 補助事業者のホームページ上に、研究部門、研究者個人（研究実績、写真、連絡先等）の情報を充実させ、研究内容及び研究者の見える化に努めているか。

① 本事業の実施内容については、ROLES の独自のウェブサイト、ウェブ制作会社のエンジニアと密接に連絡・協力しながら構築し、アップデート・改修を重ねている。分科会・プロジェクトごとにページを作成し、そこから当該分科会・プロジェクトに関するイベントや成果物、研究メンバーのプロフィールページへとリンクが張られている。このリンクはシステム上で自動で張られるように設定されており、記載漏れを防止するとともに管理上のワークロード低減を図っている。各研究メンバーのプロフィールページも原則的に全員分作成している。

さらに Youtube チャンネル上にアップロードした動画などもホームページ内に集約して直接閲覧できるようにしているほか、新潮社が運営する政治経済ニュースサイト「フォーサイト」と連携して、それら動画の内容をウェブ記事化してもらうことで研究者同士の対話の記録を残すよう努力している。

② 分科会・プロジェクトによってホームページ上の情報密度にばらつきがある。また研究者個人の情報については、英語版が整備された者と整備されていない者があるほか、その内容も日本語版と英語版で差がある。これらの点については 2024 年度以降の改善点として取り組みを進めたい。

- 組織自体の外交・安全保障政策に関する政策提言能力及び国際発信力を強化し、国際的な議論の先導に努めているか。（※実施状況のほか、発信がどう国際世論の先導につながったかを記載すること。）

（※総合事業及び調査研究事業については本項目の記載は任意。）

① 外交・安全保障政策に関する ROLES の政策提言実績としては、2022 年の防衛三文書改定に向けた提言がある。同提言では『国家安全保障戦略』に認知領域の安全保障を盛り込むよう提案しており、これは実際に文書の内容に影響を与えた。その後も ROLES は、安全保障の議論において見過ごされがちな点を指摘し、政策に反映させていくハブとしての機能を持つようになった。

国際発信については、ROLES が実施する他の事業とともに英語でのシンポジウム・ワークショップを積極的に開催している。専門家だけではなく省庁やマスコミからも広

く参加者を募り、日本としての考え方を外国有識者に直接知ってもらう場を提供してきた。また、「衛星画像分析プロジェクト」で実施した北方領土の観測では、国後島及び択捉島からロシア軍の防空システムが撤収され、おそらくウクライナへと送られたことが明らかになり、国際メディアで多数引用・報道された。

- ② 研究メンバーの外国マスコミに対する発信は個人ベースで行われている。これ自体は通常のことだが、研究メンバーへの取材依頼を受け付ける窓口機能を **ROLES** 内に設けることも検討してみたい。外国の大手マスコミからも、インド太平洋地域の外交・安全保障については **ROLES** に関与する研究者に取材しコメントを取るという習慣づけがなされれば、組織としても我が国としても国際発信力の大幅な強化となる。

- グローバルに活躍する若手人材を含む多様なシンクタンク人材の発掘・育成に意を用い、これら人材の国際的な発進力強化に取り組んでいるか。

(※総合事業及び調査研究事業については本項目の記載は任意。)

- ① 前述のように、本事業では、まだ常勤ポストを持たない若手人材を積極的に登用しているほか、インターンの採用による次世代人材の発掘・育成を行なっている。採用したインターン学生の発案による国際ワークショップが開催されるなど、人材育成の点で着実な効果をあげている。これら若手人材は専門とする分野も今後の進路も様々で、**ROLES** はそのキャリアのジャンプ台としての機能を持つ。このような方針で人材登用を進めた結果、英語はもちろん、高いロシア語・スラヴ語運用能力を持つ人材が多数集まり、期せずしてスラヴ圏研究の拠点のような様相を呈するに至ったのは興味深い。

ただし、本事業では、「グローバルに活躍できる若手」を外国語のスコアのような単純な指標のみでは測らないよう努めている。むしろ、それぞれの若手人材の内側にあるものが国際的に通用するか、あるいはそのような発展性を秘めているか、を本事業の人材登用方針では重視した。その「打率」がどの程度であるかは、現時点で何とも言い難いが、空振りを恐れずに大胆な人材登用を行うことは本事業の中核的な意義であると自負するところである。

若手人材以外でも、既にマスコミ等で実務経験を有する人材の特任教員登用や、企業からの連携研究員の派遣など、**ROLES** には多様な人材が集っている。その中心が研究者であることは変わらないとしても、研究者のみの閉じた世界とはしないことを本事業では重視したい。

- ② 女性の特任研究員・教員登用がないことに加え、外国からの人材登用が限られている。予算上の制約もあるものの、この点については一層の改善を図りたい。また、官庁や企

業からの連携研究員を受け入れることで、ROLES に来れば多様な人材・領域と触れ合えるという環境を整備したい。

(3) 補助金の使用

- 補助金事業事務処理マニュアルに沿って事業が実施されているか。(※①補助金事業事務処理にマニュアルに従った経費処理がなされていない場合には、その事項について記載すること。②その原因、次年度の改善について記載すること。)

① 本事業団体では大学執行部、研究室の研究部門、事務部門にて「補助金事業事務処理マニュアル」を共有し、マニュアルに従った執行がなされている。

### 3-1 事業の実施状況・成果

※以下のカテゴリーに沿って、具体的な実施状況（日時、場所、参加者/参加人数、テーマ、調査、議論や対外発信の概要、成果等）について記載すること。（分量自由）

## 1. 基礎的情報収集・調査研究

### 分科会・タスクフォースによる研究会合の実施概要

#### (1) 分科会「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展開・帰結」

##### 1)第1回会合

【日時】2023年8月31日（月）10:00～11:30

【場所】Zoom

【参加者/参加人数】11名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）

大串敦（慶應義塾大学法学部政治学科教授）

合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）

長谷川雄之（防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室）

服部倫卓（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

浜由樹子（静岡県立大学国際関係学研究科准教授）

東野篤子（筑波大学人文社会系教授）

松尾豪（エネルギー経済社会研究所代表）

山添博史（防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室長）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

田中祐真（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

#### 【概要】

分科会立ち上げにあたっての方針の確認、顔合わせ及び今後の展開に関する意見交換

##### 2)第2回会合

【日時】2023年11月7日（火）10:30～12:00

【場所】Zoom

【参加者/参加人数】11名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）

合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）  
長谷川雄之（防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室）  
服部倫卓（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）  
浜由樹子（静岡県立大学国際関係学研究科准教授）  
東野篤子（筑波大学人文社会系教授）  
山添博史（防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室長）  
松寄英也（津田塾大学学芸学部准教授）  
麻田雅文（岩手大学人文社会科学部准教授）  
西山美久（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）  
田中祐真（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

**【概要】**

報告

小泉悠:「軍事面から見たロシア・ウクライナ戦争」

田中祐真:「ウクライナ情勢ブリーフ（2023年9-10月）」

3)第3回会合

**【日時】** 2023年12月18日（月）10:30～12:00

**【場所】** Zoom

**【参加者／参加人数】** 13名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）  
合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）  
長谷川雄之（防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室）  
服部倫卓（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）  
浜由樹子（静岡県立大学国際関係学研究科准教授）  
東野篤子（筑波大学人文社会系教授）  
山添博史（防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室長）  
麻田雅文（岩手大学人文社会科学部准教授）  
原田大輔（エネルギー・金属鉱物資源機構調査部調査課長）  
岡部芳彦（神戸学院大学経済学部教授）  
大串敦（慶應義塾大学法学部政治学科教授）  
西山美久（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

田中祐真（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【報告者/テーマ】

- ・山添博史：「ロシア・ウクライナ戦争のインパクト再考」
- ・田中祐真：「ウクライナ情勢ブリーフ（2023年11-12月）」

4)第4回会合

【日時】2024年2月14日（水）10:30~12:00

【場所】Zoom

【参加者/参加人数】12名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）

合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）

長谷川雄之（防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室）

服部倫卓（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

浜由樹子（静岡県立大学国際関係学研究科准教授）

山添博史（防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室長）

麻田雅文（岩手大学人文社会科学部准教授）

岡部芳彦（神戸学院大学経済学部教授）

服部倫卓（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

大串敦（慶應義塾大学法学部政治学科教授）

松寄英也（津田塾大学学芸学部国際関係学科准教授）

西山美久（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

田中祐真（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【報告者/テーマ】

松寄英也：「ロシア・ウクライナ戦争の終戦とは何を意味するのか？—『平和の公式』のアイデア、実践、遂行」

田中祐真：「ウクライナ情勢ブリーフ（2023年12月-2024年2月）」

(2) 分科会「ユーラシア諸地域の内在論理」

1)第1回会合

【日時】2023年7月24日（月）16:00~17:30

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】14名

川島真（東京大学大学院総合文化研究科教授）

青木まき（アジア経済研究所地域研究センター東南アジア I 研究グループグループ長代理）

家永真幸（東京女子大学現代教養学部教授）

伊藤和歌子（東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター）

岡本正明（京都大学東南アジア地域研究研究所教授）

日下渉（名古屋大学大学院国際開発研究科准教授）

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）

鈴木絢女（同志社大学法学部教授）

鈴木隆（大東文化大学東洋研究所教授）

田中周（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

中西嘉宏（京都大学東南アジア地域研究研究所准教授）

早丸一真（東京大学教養教育高度化機構国際連携部門リベラルアーツ・プログラム特任研究員）

宮本悟（聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

【概要】

川島座長による報告「第二期に向けてのコンセプト—内在論理の強調の次にあるもの—」及び出席者間による意見交換

2) 第2回会合

【日時】2023年9月11日(月)14:30~16:00

【形式】Zoom

【参加者／参加人数】15名

川島真（東京大学大学院総合文化研究科教授）

青木まき（アジア経済研究所地域研究センター東南アジア I 研究グループグループ長代理）

家永真幸（東京女子大学現代教養学部教授）

伊藤和歌子（東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター）

岡本隆司（京都府立大学文学部教授）

日下渉（名古屋大学大学院国際開発研究科准教授）

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）

鈴木絢女（同志社大学法学部教授）

鈴木隆（大東文化大学東洋研究所教授）

田中周（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

中西嘉宏（京都大学東南アジア地域研究研究所准教授）

西山美久（前北海道大学国際連携機構特任助教）

早丸一真（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

宮本悟（聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

**【概要】**

岡本隆司委員による報告「『ユーラシア』『諸地域』『内在論理』—『中国』を事例に一」  
及び出席者間による意見交換

3)第3回会合

**【日時】** 2023年12月18日（月）16:00～18:00

**【場所】** Zoom

**【参加者／参加人数】** 14名

川島真（東京大学大学院総合文化研究科教授）

青木まき（アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理）

家永真幸（東京女子大学現代教養学部教授）

岡本隆司（京都府立大学文学部教授）

日下渉（東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授）

鈴木絢女（同志社大学法学部教授）

鈴木隆（大東文化大学東洋研究所教授）

伊藤和歌子（東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター）

西山美久（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

田中周（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

早丸一真（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

外務省オブザーバー3名

**【報告者/テーマ】**

鈴木絢女：「東南アジアで対外主権はどう解釈されてきたか」

西山美久：「独ソ戦という「共通の記憶」：ロシアによる一体感の演出」

#### 4)第4回会合

【日時】2023年12月20日(水)10:00~12:00

【場所】Zoom

【参加者/参加人数】14名

川島真(東京大学大学院総合文化研究科教授)

青木まき(アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理)

家永真幸(東京女子大学現代教養学部教授)

岡本正明(京都大学東南アジア地域研究研究所教授)

日下渉(東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授)

鈴木隆(大東文化大学東洋研究所教授)

宮本悟(聖学院大学政治経済学部教授/東京大学先端科学技術研究センター客員研究員)

山口信治(防衛研究所地域研究部主任研究官)

伊藤和歌子(東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター)

西山美久(東京大学先端科学技術研究センター特任助教)

田中周(東京大学先端科学技術研究センター特任研究員)

早丸一真(東京大学先端科学技術研究センター特任助教)

外務省オブザーバー2名

【報告者/テーマ】

青木まき:「タイとメコン流域諸国との関係」

田中周:「新疆における中国共産党の国家建設:1949-1954年の軍事的側面を中心に」

#### 5)第5回会合

【日時】2023年12月27日(水)10:00~12:00

【場所】Zoom

【参加者/参加人数】16名

川島真(東京大学大学院総合文化研究科教授)

青木まき(アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理)

家永真幸(東京女子大学現代教養学部教授)

岡本隆司(京都府立大学文学部歴史学科教授)

岡本正明(京都大学東南アジア地域研究研究所教授)

日下涉（東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授）  
鈴木絢女（同志社大学法学部教授）  
鈴木隆（大東文化大学東洋研究所教授）  
中西嘉宏（京都大学東南アジア地域研究研究所准教授）  
松田康博（東京大学東洋文化研究所教授）  
宮本悟（聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員）  
山口信治（防衛研究所地域研究部主任研究官）  
池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）  
小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）  
西山美久（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）  
早丸一真（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

【報告者/テーマ】

小泉悠：「ロシア軍人たちの言説とネオ・ユーラシア主義」

早丸一真：「日本とロシア—大清からみた近隣の異物」

6)第6回会合

【日時】2024年1月30日（火）9:30～11:30

【場所】Zoom

【参加者/参加人数】16名

川島真（東京大学大学院総合文化研究科教授）  
青木まき（アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理）  
家永真幸（東京女子大学現代教養学部教授）  
岡本隆司（京都府立大学文学部歴史学科教授）  
日下涉（東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授）  
鈴木絢女（同志社大学法学部教授）  
鈴木隆（大東文化大学東洋研究所教授）  
宮本悟（聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員）  
伊藤和歌子（東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター）  
西山美久（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）  
早丸一真（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）  
外務省オブザーバー5名

【報告者/テーマ】

鈴木隆：強権指導者の歴史認識と領土観念—習近平の台湾認識を例として—

家永真幸：台湾における「主権国家」と「多元一体」をめぐる問題

7)第7回会合

【日時】2024年2月8日(木) 10:00~12:00

【場所】Zoom

【参加者/参加人数】19名

川島真(東京大学大学院総合文化研究科教授)

青木まき(アジア経済研究所地域研究センター東南アジアI研究グループグループ長代理)

家永真幸(東京女子大学現代教養学部教授)

岡本隆司(京都府立大学文学部歴史学科教授)

日下渉(東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授)

鈴木絢女(同志社大学法学部教授)

鈴木隆(大東文化大学東洋研究所教授)

池内恵(東京大学先端科学技術研究センター教授)

伊藤和歌子(東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター)

西山美久(東京大学先端科学技術研究センター特任助教)

田中周(東京大学先端科学技術研究センター特任研究員)

早丸一真(東京大学先端科学技術研究センター特任助教)

外務省オブザーバー7名

【報告者/テーマ】

日下渉：内側から見るフィリピンの外交

伊藤和歌子：中国の標準化戦略—その概要整理—

8)第8回会合(オンライン・ワークショップ)

【日時】2024年3月5日(火) 10:00~12:00

【場所】Zoom

【参加者/参加人数】7名

川島真(東京大学大学院総合文化研究科教授)

Sanyarat Meesuwat(associate professor, the College of Politics and Governance at

Maharakham University in Thailand)

青木まき（アジア経済研究所地域研究センター東南アジア I 研究グループグループ長代理）

日下渉（東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授）

宮本悟（聖学院大学政治経済学部教授／東京大学先端科学技術研究センター客員研究員）

伊藤和歌子（東京大学先端科学技術研究センターシニア・プログラム・コーディネーター）

早丸一真（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

**【報告者/テーマ】**

Sanyarat Meesuwan：「Bridging Borders: The Implications of the Thai-Chinese High-Speed Railway Project for Northeastern Thailand and China's Regional Strategy」

青木まき：ディスカッサント

**(3) 分科会「広域中央アジアの重畳化する安全保障環境」**

1) 準備・打ち合わせ

**【日時】** 2023 年 4 月 27 日(木) 13:00～14:00

**【場所】** Zoom

**【参加者/参加人数】** 2 名

稲垣文昭（秋田大学大学院国際資源学研究科教授）

田中周（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

**【概要】**

分科会「広域中央アジアの重畳化する安全保障環境」発足に向けた準備・打ち合わせ

2) 準備・打ち合わせ

**【日時】** 2023 年 8 月 23 日（水）10:00～11:00

**【場所】** Zoom

**【参加者/参加人数】** 2 名

稲垣文昭（秋田大学大学院国際資源学研究科教授）

田中周（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

**【概要】**

第 1 回会合（2023 年 8 月 24 日開催）に向けた準備・打ち合わせ

3) 第 1 回会合

【日時】 2023 年 8 月 24 日（木） 13:00～14:30

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 9 名

稲垣文昭（秋田大学大学院国際資源学研究科教授）

田中周（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

伊藤庄一（一般財団法人日本エネルギー経済研究所/資源・燃料・エネルギー安全保障ユニット上級スペシャリスト）

加藤美保子（広島市立大学広島平和研究所講師）

齋藤竜太（ロシア NIS 貿易会ロシア NIS 経済研究所研究員）

周源（神戸大学大学院法学研究科研究助手）

スルトノフ ミルゾサイド（東洋大学国際学部教授）

田中マリア（秋田大学大学院国際資源学研究科特任助教）

渡邊三津子（文教大学国際学部准教授）

【概要】

分科会「広域中央アジアの重畳化する安全保障環境」（略称「広域中央アジア分科会」）の顔合わせ、概要・目的・計画に関する報告、今年度の会合スケジュール、国内外出張等に関する事務連絡等。

#### 4) 打ち合わせ

【日時】 2023 年 9 月 25 日（月） 8:30～9:00

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 2 名

齋藤竜太（ロシア NIS 貿易会ロシア NIS 経済研究所研究員）

田中周（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

分科会「広域中央アジアの重畳化する安全保障環境」2023 年度海外出張に関する打ち合わせ

#### 5) 第 2 回会合

【日時】 2024 年 1 月 29 日（月） 15:00～17:00

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 9 名

稲垣文昭（秋田大学大学院国際資源学研究科教授）

田中周（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

伊藤庄一（一般財団法人日本エネルギー経済研究所/資源・燃料・エネルギー安全保障ユニット上級スペシャリスト）

加藤美保子（広島市立大学広島平和研究所講師）

周源（神戸大学大学院法学研究科研究助手）

スルトノフ ミルゾサイド（東洋大学国際学部教授）

田中マリア（秋田大学大学院国際資源学研究科特任助教）

渡邊三津子（文教大学国際学部准教授）

山口信治（防衛研究所地域研究部主任研究官）

外務省オブザーバー 5 名

【報告者/テーマ】

伊藤庄一：「ウクライナ戦争下の中央アジアを巡るパワーゲーム」

渡邊三津子：「地理学的視座からみた広域中央アジアの重畳性」

## 6) 第 3 回会合

【日時】 2024 年 2 月 15 日（木） 15:30～17:30

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 9 名（他にオブザーバーとして外務省より 3 名出席）

稲垣文昭（秋田大学大学院国際資源学研究科教授）

田中周（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

伊藤庄一（一般財団法人日本エネルギー経済研究所/資源・燃料・エネルギー安全保障ユニット上級スペシャリスト）

加藤美保子（広島市立大学広島平和研究所講師）

周源（神戸大学大学院法学研究科研究助手）

スルトノフ ミルゾサイド（東洋大学国際学部教授）

田中マリア（秋田大学大学院国際資源学研究科特任助教）

渡邊三津子（文教大学国際学部准教授）

山口信治（防衛研究所地域研究部主任研究官）

【概要】

山口信治：「中国の中央アジア外交」

加藤美保子：「ウクライナ戦争下のロシアと東ユーラシア：連携と断層」

#### (4) 分科会「中東・イスラーム世界の多極化と均衡」

##### 1) 非公開ワークショップ

【日時】2023年7月10日(月) 10:30~12:00

【場所】東京大学先端科学技術研究センター

【参加者/参加人数】15名

マーク・レゲブ (ライヒマン大学外交研究所長)

ゲダリヤ・アフターマン (ライヒマン大学外交研究所アジア政策部長)

稲見昌彦 (東京大学先端科学技術研究センター教授)

岩間陽子 (政策研究大学院大学教授)

松本佐保 (日本大学国際関係学部教授)

村野将 (ハドソン研究所研究員)

辻田俊哉 (大阪大学 CO デザインセンター准教授/東大先端研上級客員研究員)

木村風雅 (東京大学大学院総合文化研究科・中東地域研究センター特任助教)

ギブール・ドラモット (仏 INALCO 教授/東大先端研上級客員研究員)

上村司 (日本政府代表・中東和平担当特使)

西永知史 (外務省中東局参事官)

小林伸一 (外務省国際情報統括官組織第4国際情報官室上席専門官)

池内恵 (東京大学先端科学技術研究センター教授)

小泉悠 (東京大学先端科学技術研究センター専任講師)

山口亮 (東京大学先端科学技術研究センター特任助教)

##### 【概要】プログラム

##### Closed Seminar

10:30-12:00 Closed Seminar with Amb. Mark Regev: "Israeli Diplomacy Behind the Domestic Political Turmoil"

Venue: Seminar Room 1, RCAST Building 3, RCAST of the University of Tokyo

Access:

<https://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/en/access.html>

Google Map:

<https://goo.gl/maps/QC46MaBbGUJMdfEJ6>

10:30-10:40 Introduction by Prof. Satoshi Ikeuchi, Head of ROLES of the University of Tokyo

10:40-11:20 Lecture "Israeli Diplomacy Behind the Domestic Political Turmoil"

Speaker: Amb. Mark Regev, Director of Abba Eban Institute for Diplomacy and International Affairs of Reichman University

Discussion:

Comments: Dr. Gedaliah Afterman, Head of the Asia Policy Program, Abba Eban Institute for Diplomacy and International Affairs, Reichman University

## 2) 非公開昼食ディスカッション

【日時】2023年7月10日(月) 12:00~13:00 【場所】先端科学技術研究センター

【参加者】17名

ギラード・コーエン (駐日イスラエル大使)

マーク・レゲブ (ライヒマン大学外交研究所長)

ゲダリヤ・アフターマン (ライヒマン大学外交研究所アジア政策部長)

杉山正和 (東京大学先端科学技術研究センター所長)

門内靖明 (東京大学先端科学技術研究センター准教授)

岩間陽子 (政策研究大学院大学教授)

村野将 (ハドソン研究所研究員)

松本佐保 (日本大学国際関係学部教授)

辻田俊哉 (大阪大学 CO デザインセンター准教授/東大先端研上級客員研究員)

木村風雅 (東京大学大学院総合文化研究科・中東地域研究センター特任助教)

ギブール・ドラモット (仏 INALCO 教授/東大先端研上級客員研究員)

上村司 日本政府代表 (中東和平担当特使)

西永知史 (外務省中東局参事官)

小林伸一 (外務省国際情報統括官組織第4国際情報官室上席専門官)

池内恵 (東京大学先端科学技術研究センター教授)

小泉悠 (東京大学先端科学技術研究センター専任講師)

山口亮 (東京大学先端科学技術研究センター特任助教)

## 【概要】

プログラム

12:00-13:30 Lunch Discussion with Amb. Mark Regev: "Japan and Israel in the Middle East Regional Transformation: Between the US, China and the Gulf States"

Foyer at the RCAST Building 3, RCAST of the University of Tokyo

Introduction by Prof. Satoshi Ikeuchi, Head of ROLES (RCAST Open Laboratory for Emergence Strategies) of the University of Tokyo

Opening Remarks by Amb. Mark Regev, Director of Abba Eban Institute for Diplomacy and International Affairs of Reichman University

Keynote Speech by Amb. Gilad Cohen

Lecture "A Cause for the Trilateral Cooperation: Japan's Opportunity in Israel and the Gulf"

Speaker: Dr. Gedaliah Afterman, Head of the Asia Policy Program of the Abba Eban Institute for Diplomacy and International Affairs, Reichman University

### 3) 非公開国際会合

【日時】2023年7月24日(月) 10:30~12:00

【場所】東京大学先端科学技術研究センター・グローバルセキュリティ・宗教分野研究室

【参加者/参加人数】8名

エリザベス・L・ディブル (シナイ半島駐留多国籍部隊・監視団 (MFO) 事務局長)

池内恵 (東京大学先端科学技術研究センター教授)

篠田英朗 (東京外国語大学教授)

吉崎知典 (東京外国語大学教授)

山口亮 (東京大学先端科学技術研究センター特任助教)

加納雄大 (内閣府国際平和協力本部事務局事務局長)

内閣府国際平和協力本部事務局事務局長から2名

### 4) 非公開国際会合

【日時】2023年7月24日(月) 13:00-14:30

【場所】東京大学先端科学技術研究センター・グローバルセキュリティ・宗教分野研究室

【参加者／参加人数】 6名

アフメド・アブデルラティーフ（CCCCPA所長）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

篠田英朗（東京外国語大学教授）

吉崎知典（東京外国語大学教授）

外務省から2名

5) 第5回会合（文理横断タスクフォース「国際紛争のデータ・ビジュアライゼーション」  
との合同開催）

【日時】 2023年12月8日（金）

【場所】 東京大学先端科学技術研究センター3号館セミナールーム1

【参加者／参加人数】 32名（オンライン5名）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

ジラルデッリ青木美由紀（イスタンブール工科大学建築学部建築学科助教授）

渡邊英徳（東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授）

【概要】

「イスタンブールにおける近代日本外交の来歴」と題した一般にも公開したセミナーとして開催し、ジラルデッリ青木氏からは日本のイスタンブール建築史による日本の対中東外交の検討が行われ、渡邊教授からはデータビジュアライゼーション・データアーカイブの手法による外交史の新しいプレゼンテーションの手法の検討がなされた。

6) セミナー「ガザ戦争の後の中東の未来」

【日時】 2024年1月24日（水）15:00-16:30

【場所】 先端科学技術研究センター 3号館 M2階 セミナールーム1

【登壇者】 参加者は12名

講師：ザイド・イヤードート（ヨルダン大学教授・同大学戦略研究所長）

司会：池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授・ROLES代表）

【概要】

イスラエル・ハマース紛争の後の中東和平の新たな国際枠組みについて議論を行った。なお、本会合は発展型総合事業「国際理念と秩序の潮流」国際タスクフォース「中東・アフリカの平和構築と秩序形成への貢献」との合同事業である。

#### (5) 分科会「日米統合防衛戦略」

##### 1) 準備会合

【日時】2023年11月23日(木) 21:00～22:00

【形式】オンライン

【参加者／参加人数】4名

村野 将 (米ハドソン研究所研究員)

小泉 悠 (東京大学先端科学技術研究センター専任講師)

松田 拓也 (東京大学先端科学技術研究センター特任研究員)

伊藤和歌子 (東京大学先端科学技術研究センターシニアプログラムコーディネーター)

##### 【概要】

今年度及び来年度の実施計画について

#### (6) 分科会「情報・認知領域の安全保障」

##### 1) ファクトチェック・シンポジウム

【日時】2023年12月13日(水) 10:00-15:00 (12:50-13:50 昼休憩)

【場所】ハイブリッド (Zoom、東京大学駒場IIキャンパス3号館南棟 ENEOS ホール)

【参加者／参加人数】7名

陣内一樹 (Code for Japan 副代表理事)

高森雅和 (株式会社 Dafna 社長、株式会社 Japan Nexus Intelligence)

Osnat MOKRYN (ハーバード大学客員研究員、ハイファ大学終身上級講師)

Itai JONAT (Intercept 9500 Ltd 創設者兼 CEO)

游知浩 (一橋大学グローバル・ガバナンス研究センター法学研究科客員研究員、台湾情報環境研究センター (IORG) 共同ディレクター)

栞原響子 (日本国際問題研究所研究員)

一田和樹 (作家、明治大学サイバーセキュリティ研究所客員研究員)

##### 【概要】

ファクトチェックを巡る最新の情勢、そしてその重要性を巡る議論を実施。

#### (7) シミュレーション会議「ロシア・ウクライナ戦争の影響分析」

##### 1) 第1回会合

【日時】 2024 年 3 月 1 日（金） 10:00～11:30

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 ○名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

川島真（東京大学大学院総合文化研究科教授）

国末憲人（東京大学先端科学技術研究センター特任教授）

岩間陽子（政策研究大学院大学教授）

遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

大庭三枝（神奈川大学教授）

東野篤子（筑波大学人文社会系教授）

篠田英朗（東京外国語大学院総合国際学研究院教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

池内教授より本会議の趣旨に説明があり、その後参加者間で議論を行った。

## 2) 第2回会合

【日時】 2024 年 3 月 18 日（月） 13:00～14:30

【場所】 Zoom

【参加者／参加人数】 10 名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

国末憲人（東京大学先端科学技術研究センター特任教授）

岩間陽子（政策研究大学院大学教授）

大庭三枝（神奈川大学教授）

東野篤子（筑波大学人文社会系教授）

吉崎知典（東京外国語大学院総合国際学研究院特任教授）

篠田英朗（東京外国語大学院総合国際学研究院教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

田中祐真（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

今後の本格的なシミュレーションの実施に向け、吉崎東京外国語大学教授より政策シミュレーションの進め方に関する簡単な説明がなされた後、試験的に参加者を2つのグループに分けて実際にシミュレーションを行った。

#### (8) 文理横断タスクフォース「国際紛争のデータ・ビジュアライゼーション」

##### 1) 第1回予備会合

【日時】2023年5月8日(月) 11:30~13:00

【場所】Zoom

【参加者/参加人数】2名

渡邊英徳（東京大学学際情報学環教授）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

##### 【概要】

第1回予備会合

##### 2) 第2回予備会合

【日時】2023年5月10日(水) 14:00~14:55

【場所】東大本郷キャンパス・福武ホール 2F 研究室3

【参加者/参加人数】4名

渡邊英徳（東京大学学際情報学環教授）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

大和大介（JEOSS）

北原純（連携研究員）

##### 【概要】

渡邊研による Liquid Galaxy の体験版のデモンストレーション

##### 3) 第3回予備会合

【日時】2023年6月3日（土）

【場所】Zoom

【参加者/参加人数】3名

渡邊英徳（東京大学学際情報学環教授）

指原佑佳（東京工業大学大学院修士課程/東大先端研・交流研究生）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

【概要】

指原さんの渡邊研・池内・小泉研の連絡調整、データビジュアライゼーション・タスクフォースでの幹事としての役割、交流研究生としての東大・先端研への所属についての調整。

4) 第4回予備会合

【日時】2023年8月21日（月）

【場所】東大本郷キャンパス・福武ホール2F 研究室3

【参加者／参加人数】4名

渡邊英徳（東京大学学際情報学環教授）

指原佑佳（東京工業大学大学院修士課程／東大先端研・交流研究生）

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

【概要】

指原佑佳「Sentinel を利用した衛星画像解析によるウクライナの農業被害の研究」

Sentinel、Maxer、SAR 等の衛星画像分析の成果を一般に公開するプレゼンテーション手法の開発について打ち合わせ

5) 第5回会合（中東・イスラーム世界分科会との合同開催）

【日時】2023年12月8日（金）

【場所】東京大学先端科学技術研究センター3号館セミナールーム1

【参加者／参加人数】32名（オンライン5名）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

ジラルデッリ青木美由紀（イスタンブール工科大学建築学部建築学科助教授）

渡邊英徳（東京大学大学院情報学環・学際情報学環教授）

【概要】

「イスタンブールにおける近代日本外交の来歴」と題した一般にも公開したセミナーとして開催し、ジラルデッリ青木氏からは日本のイスタンブール建築史による日本の対中東外交の検討が行われ、渡邊教授からはデータビジュアライゼーション・データアーカイブの手法による外交史の新しいプレゼンテーションの手法の検討がなされた。会場には本タスクフォースに今後加わる新メンバーが参加した。

## (9) 衛星画像分析プロジェクト

### 1) 第1回会合

【日時】2023年10月18日(水)10:00~12:00

【場所】東京大学先端科学技術研究センター4号館6F・オンライン(ハイブリッド形式)

【参加者/参加人数】10名

小泉悠(東京大学先端科学技術研究センター専任講師)

井上智太郎(共同通信社外信部副部長)

栗田真広(防衛研究所主任研究官)

古川勝久(自営業コンサルタント著述業)

小原凡司(笹川平和財団安全保障研究グループ上席フェロー)

村野将(米ハドソン研究所研究員)

渡邊英徳(東京大学学際情報学環教授)

指原佑佳(東京工業大学大学院修士課程/東大先端研・交流研究生)

山口亮(東京大学先端科学技術研究センター特任助教)

田中祐真(東京大学先端科学技術研究センター特任研究員)

#### 【概要】

中国ICBM基地の件最終まとめに向けて

次回テーマについて

### 2) 第2回会合

【日時】2023年12月25日(月)10:00~12:00

【場所】東京大学先端科学技術研究センター4号館6F・オンライン(ハイブリッド形式)

【参加者/参加人数】11名

小泉悠(東京大学先端科学技術研究センター准教授)

井上智太郎(共同通信社外信部副部長)

秋山信将(一橋大学国際・公共政策大学院教授)

北原大介(日本地球観測衛星サービス株式会社JEOSS技術部部長)

古川勝久(自営業コンサルタント著述業)

小原凡司(笹川平和財団安全保障研究グループ上席フェロー)

村野将(米ハドソン研究所研究員)

上船開法（KPMG コンサルティングコンサルタント）

渡邊英徳（東京大学学際情報学環教授）

指原佑佳（東京工業大学大学院修士課程／東大先端研・交流研究生）

山口亮（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

**【概要】**

中国 ICBM 基地について小泉准教授より、GIS の活用について指原研究生より報告がなされた。

3) 第3回会合

**【日時】** 2024年2月9日（金）13:00～15:00

**【場所】** 東京大学先端科学技術研究センター4号館6F・オンライン（ハイブリッド形式）

**【参加者／参加人数】** 10名

小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）

井上智太郎（共同通信社外信部副部長）

秋山信将（一橋大学国際・公共政策大学院教授）

高橋杉雄（防衛研究所政策研究部防衛政策研究室長）

古川勝久（自営業コンサルタント著述業）

小原凡司（笹川平和財団安全保障研究グループ上席フェロー）

村野将（米ハドソン研究所研究員）

渡邊英徳（東京大学学際情報学環教授）

指原佑佳（東京工業大学大学院修士課程／東大先端研・交流研究生）

田中祐真（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

**【概要】**

2023年度の研究成果について報告とともに総括を行った。

**(10) 文理横断タスクフォース「ロボティクス・仮想現実・拡張現実と安全保障」**

1) 第1回準備会合

**【日時】** 2023年10月11日（水）

**【場所】** トルコ日本科学技術大学（イスタンブール）

**【参加者／参加人数】** 4名

稲見昌彦（東京大学先端科学技術研究センター教授）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

ベキル・サーミ・ユルバシュ（トルコ日本科学技術大学学長）

三原久和（トルコ日本科学技術大学筆頭副学長）

【概要】VR・ロボティクス技術の外交・安全保障への影響と、それを日・トルコ科学技術協力、日本の対中東外交に及ぼす影響について意見交換を行い、2024年の日・トルコ国交百周年に向けて東大とトルコの科学技術協力の拡大・強化に共に関与する可能性について検討した。

## 2. 機動的かつタイムリーな国内外への発信（インターネット等による広報、公開セミナーの開催を含む）

### イベントのメディア掲載

・動画配信「ROLES Cast」第10回、第11回、第12回、第13回が2023年9月29日付、2023年10月2日付新潮社 Foresight ウェブサイトに掲載された。

URL：（第10回）<https://www.fsight.jp/articles/-/50098>

（第11回）<https://www.fsight.jp/articles/-/50094>

（第12回）<https://www.fsight.jp/articles/-/50285>

（第13回）<https://www.fsight.jp/articles/-/50286>

<https://www.fsight.jp/articles/-/50287>

・12月13日開催のファクトチェック国際シンポジウム「認知領域安全保障のためにファクトチェックには何ができるか？」開催後、日本経済新聞より登壇者に取材が行われ、2023年12月27日付記事「台湾総統選挙の情報工作、市民がフェイクを監視」として掲載された。

URL: <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOFH257OC0V21C23A2000000/>

### ROLES ウェブサイトを通じた発信

本事業では、ROLES ウェブサイト (<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/>) において、以下のような発信を行っている。

- ・ 日本語版刊行物：「ROLES Commentary」「ROLES Report」
- ・ 英語版刊行物：「ROLES INSIGHTS」
- ・ ジャーナル（日英）：『ROLES Review』
- ・ 日本語版時事解説動画シリーズ：「ROLES Cast」

- 英語版時事解説動画シリーズ；「ROLES Talk」
- その他の動画：YouTube チャンネル「ROLES Channel」  
(<https://www.youtube.com/@ROLESChannel>) 登録者数 8060 人
- 各種セミナー・シンポジウムの告知；「イベント」欄 (<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/events>)
- その他のお知らせ；「ニュース」欄 (<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/news>)

また、広報用資料として、ROLES パンフレットを作成した（別添資料作成）。

本事業にかかる発信実績は以下の通りである。

### 【ROLES Cast】

作成日	動画タイトル	視聴再生回数
2023/9/22	<a href="#">ROLESCast #011 アゼルバイジャンの「対テロ作戦」－ 紛争の背景と今後</a>	17596 回
2023/10/14	<a href="#">ROLESCast #012 ハマスによる越境攻撃とイスラエル情勢：現状と展望</a>	19488 回
2023/11/16	<a href="#">ROLESCast #013 イスラエル・ハマス戦争 1 ヶ月 外交と国際関係に与える影響</a>	15784 回

### 【ROLES Channel】

作成日	動画タイトル	視聴再生回数
2023/6/19	<a href="#">東大駒場リサーチキャンパス公開 2023 「大学発・外交安全保障シンクタンクの挑戦：東大先端研 ROLES と慶應 KGRI の競争と協業」</a>	8549 回
2023/11/30	<a href="#">“The Burden-Sharing Dilemma: Coercive Diplomacy in US Alliance Politics (Book Launch)”</a>	1196 回

### 【ROLES Report/Commentary】

- 11 月 22 日～12 月 1 日に実施した西山特任助教・田中特任研究員による中央アジア出張に

よる調査概要は、ROLES COMMENTARY No. 14 「ロシア・ウクライナ戦争下における中央アジア情勢」 として取りまとめられている。

- 衛星画像分析プロジェクトでは、『ROLES SAT ANALYSIS』と呼ばれる成果を、短いレポートの形で広く一般に公開していくシリーズを実施しているが、それに加えて笹川平和財団と共同で中国の戦略核戦力増強の現状に関する分析を行い、その成果を ROLES REPORT No.30 「衛星画像を用いた中国の戦略核戦力増強の現状に関する分析」として取りまとめている。

作成日	刊行物タイトル	分科会
2023/4/28	<a href="#">ROLES REPORT No.24 田中祐真「ポーランドの対ウクライナ姿勢ーウクライナとの『連帯』における政治的・心情的背景ー」</a>	分科会「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展開・帰結」
2023/5/8	<a href="#">ROLES Commentary No.8 田中祐真「中・ウクライナ首脳電話会談前後の動きから読み取れるウクライナの最近の対中姿勢」</a>	分科会「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展開・帰結」
2023/6/1	<a href="#">ROLES Commentary No.9 田中祐真「ゼレンスキー政権におけるウクライナ大統領府の存在 ーイェルマーク長官への権力の集中ー」</a>	分科会「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展開・帰結」
2023/6/16	<a href="#">ROLES REPORT No.25 栗原響子「カナダの偽情報対策にみる成果と課題: 日本へのインプリケーション」</a>	分科会「情報・認知領域の安全保障」
2023/9/11	<a href="#">ROLES Commentary No.10 田中祐真「ウクライナ国防相の人事交代 ーレズニコフ退任とウメロフ就任の背景ー」</a>	分科会「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展開・帰結」
2024/2/26	<a href="#">ROLES COMMENTARY No. 14 西山美久・田中祐真「ロシア・ウクライナ戦争下における中央アジア情勢」</a>	分科会「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展開・帰結」
2024/3/4	<a href="#">ROLES REPORT No.30 衛星画像を用いた中国の戦略核戦力増強の現状に関する分析</a>	衛星画像分析プロジェクト

### 【ROLES SAT ANALYSIS】

衛星画像分析プロジェクトによる、成果を短いレポートの形で広く一般に公開していくシリーズであり、今年度の成果は以下の通り。

作成日	刊行物タイトル
2023/11/24	<a href="#">ROLES SAT ANALYSIS No.1 中国内陸部における ICBM サイロ建設の状況（1）</a>
2023/11/27	<a href="#">ROLES SAT ANALYSIS No.1 China's ICBM Silo Constructions In Hami Area (1)</a>
2023/12/15	<a href="#">ROLES SAT ANALYSIS No.2 中国内陸部における ICBM サイロ建設の状況（2）</a>
2024/12/19	<a href="#">ROLES SAT ANALYSIS No.2 China's ICBM Silo Constructions In Hami Area (2)</a>
2024/2/1	<a href="#">ROLES SAT ANALYSIS No.3 中国内陸部における ICBM サイロ建設の状況（3）</a>

### 【その他】

- タスクフォース「国際紛争のデータ・ビジュアライゼーション」の成果として、メンバーの指原佑佳氏により、ウクライナの農業への戦争被害を衛星画像を通じて可視化するものです。2023年6月に起きたカフホカダム破壊事件による洪水、そして長期的な水不足の影響を、オープンソースの衛星画像を用いて、簡単なアプリケーションをツールとして用いて把握し、可視化する手法についてチュートリアルで示すコンテンツを公開した。

（概要（日本語）） <https://labo.wtnv.jp/2023/12/blog-post.html>

- PHP 総研グローバル・リスク分析プロジェクトが取りまとめた『2024年版 PHP グローバル・リスク分析』に、池内恵教授が作成に参加した。

（概要） <https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/news/20231222-2>

・広報用資料として、昨年度作成した ROLES パンフレットを改訂（下図参照）。



## ROLES 自体の広報のためのイベント

ROLES という組織自体の広報のため、以下のイベントを発展型総合事業「国際理念と秩序の潮流 日本の安全保障戦略の課題」及び総合事業「自由・民主主義は何をもたらしことができるか」と連携して実施した。

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	事前登録	当日参加
2023/6/10	<a href="#">「大学発・外交安全保障シンクタンクの挑戦：東大先端研 ROLES と慶應 KGRI の競争と協業」</a>	細谷雄一（慶應義塾大学法学部教授／戦略構想センター・センター長）、森聡（慶應義塾大学法学部教授／戦略構想センター・副センター長）、池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授／ROLES 代表）、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師／ROLES 副代表）	ハイブリット	371	271

2023/6/10	<a href="#">東大駒場リサーチキャンパス公開 2023</a> <a href="#">バーチャル研究室公開</a>	<p>&lt;前半&gt; 池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）</p> <p>&lt;後半&gt; 山口亮（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）、伊藤和歌子（東大先端研シニアプログラムコーディネーター）、立田由紀恵（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）、田中周（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）、豊田耕平（東京大学先端科学技術研究センター連携研究員）、鍛治一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）</p>	ZOOM ウェビナー	188	100
-----------	---	---	------------	-----	-----

2023/11/10	<p><a href="#">エネルギー国際安全保障機構設立記念国際シンポジウム「グローバルセキュリティとエネルギートランジション」</a></p>	<p>河野龍興（東京大学先端科学技術研究センター エネルギー国際安全保障機構長教授）、杉山正和（東京大学先端科学技術研究センター所長教授）、大久保達也（東京大学理事・副学長教授）、柳澤好治（文部科学省研究振興局大学研究基盤整備課長）、ジェーン・ナカノ（戦略国際問題研究所（米国）シニアフェロー）、白井俊行（経済産業省資源エネルギー庁長官官房国際課長）、加藤淳（外務省国際協力局気候変動課長）、ピーター・ロバーツ（在日オーストラリア大使館 首席公使）、ディディエ・マルティ＝ドシュ（在日フランス大使館科学技術参事官）、西村元彦（川崎重工業(株)専務執行役員、エネルギーソリューション&amp;マリンカンパニープレジデント）、テユン・キム（国際エネルギー機関 IEA）、近藤重人（日本エネルギー経済研究所中東研究センター 主任研究員）、佐藤康司（ENEOS</p>	対面	131	101
------------	--	--	----	-----	-----

		株式会社執行役員 中央技術研究所長）、池内恵（東京大学先端科学技術研究センター 教授）			
--	--	---	--	--	--

## ROLES メンバーのメディア出演実績

※ROLES 所属の教授・准教授・助教・研究員によるメディア出演実績は以下のとおり。

なお、ROLES は発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」及び「国際理念と秩序の潮流 日本の安全保障戦略の課題」も実施しているが、事業別に出演実績を切り分けることは困難なため、上記2事業の実績報告書にも同様に記載している。

### 1.テレビ番組等

#### ①池内恵 教授

日付	媒体	番組名・タイトル等
2023/11/8	BS テレ東	アメリカの説得も聞く耳持たず イスラエルはなぜ強硬なのか？ 【日経プラス9】（2023年11月8日）
2023/11/11	BS テレ東	日経プラス9 サタデー ニュースの疑問
2023/12/8	ZATSUDAN	池内恵氏×堀江貴文氏 ZATSUDAN Special

②小泉悠 准教授

日付	媒体	番組名・タイトル等
2023/4/5	BS フジ	プライムニュース▼欧米との対決強化へ 露の新外交指針を森本 & 小泉が分析<後編>
2023/4/5	BS フジ	プライムニュース▼欧米との対決強化へ 露の新外交指針を森本 & 小泉が分析<前編>
2023/4/6	BS 日テレ	【プーチン氏“戦術核配備”協議か】ウクライナ軍「ミグ29」どう使う？反転攻勢シナリオ…軍事ブロガー“爆死”事件の背景に何が？【深層 NEWS】
2023/4/9	テレ朝 NEWS	【フィンランド NATO 加盟】安保環境の激変に“戦術核”対口抑止は？◆日曜スクープ◆ (テキストアーカイブ)
2023/4/9	BS 朝日	日曜スクープ▼ロシア軍“バフムト攻撃”継続するも弾薬・人員の制約は…攻勢どこまで？ウクライナは反転攻勢の準備か▽NATO 拡大…フィンランド正式加盟、ロシア警告の「対抗措置」は!?(出演)
2023/4/12	TBS	米“機密文書”流出／ウクライナ反転攻勢への影響は・・・【4月12日(水) #報道 1930】
2023/4/19	TBS	“素顔”撮り続けた監督が語る「国民は進んで人質になった」【4月19日(水) #報道 1930】
2023/4/20	ニッポン放送	飯田浩司の OK!Cozy up!▼2023年4月20日(木) コメンテーター：飯田泰之・小泉悠
2023/4/21	広島テレビ	【インタビュー】「核の威嚇と G7 広島サミット」小泉悠氏に聞く
2023/4/26	TBS	プーチン氏暗殺恐れ地下壕に？ロシアのテロ組織 実行犯の証言【4月26日(水) #報道 1930】
2023/4/26	NHK	NHK ジャーナル▼【核兵器を考える】第2回出演
2023/4/28	BS フジ	プライムニュース▼ウクライナ軍が活発化か？兵頭×小泉が戦局を徹底分析<前編>
2023/4/28	BS フジ	プライムニュース▼ウクライナ軍が活発化か？兵頭×小泉が戦局を徹底分析<後編>

2023/5/3	日テレ	news zero▼ロシア大統領府に無人機攻撃か 誰が実行? 自作自演? 小泉悠さん「かなり大きな展開が起きそうな局面を我々は見ている」
2023/5/4	テレビ朝日	グッド!モーニング▼ロシア大統領府に無人機攻撃か ウクライナは関与否定 “2つの不可解な点”指摘も【もっと知りたい!】
2023/5/4	BS フジ	プライムニュース▼プーチン暗殺未遂? クレムリンに無人機攻撃 小泉悠 x 岩田清文<前編>
2023/5/4	BS フジ	プライムニュース▼プーチン暗殺未遂? クレムリンに無人機攻撃 小泉悠 x 岩田清文<後編>
2023/5/5	TBS	“自作自演”か“ロシア反体制派”か“ウクライナ”か ロシア大統領府「クレムリン」ドローン攻撃 映像から浮かび上がる様々な疑問【news23】
2023/5/9	BS フジ	プライムニュース▼高橋杉雄 x 小泉悠がプーチン演説と軍事パレードを分析<前編>
2023/5/9	BS フジ	プライムニュース▼高橋杉雄 x 小泉悠がプーチン演説と軍事パレードを分析<後編>
2023/5/12	BS 日テレ	【小泉悠が分析! ウクライナ反転攻勢】英国長距離ミサイル「ストームシャドー」供与の狙いは? 独自取材南部ザポリージャ州ロシア軍“大規模強奪”【深層 NEWS】
2023/5/12	読売テレビ	【ヨコスカ解説】 苦しい露軍の実情は? ウ軍の反転攻勢は? G7 で日本は世界を核軍縮に導ける? ロシア軍事に詳しい小泉悠氏に直撃!
2023/5/14	TBS	【報道 1930SP】 G7 元高官らが証言/世界はプーチン氏をなぜ止められなかった【5月14日(日) #報道 1930】
2023/5/14	テレ朝 NEWS	【プリゴジン氏が国防幹部を痛罵】 政治的野心に“内紛”混迷の火種は◆日曜スクープ◆(2023年5月14日)
2023/5/15	TBS	激戦地バフムト ウクライナ軍が一転攻勢に 戦場の原発「最悪のシナリオ」とは?【5月15日(月) #報道 1930】
2023/5/18	BS 日テレ	深層 NEWS▽ウクライナ反転攻勢に向けた空をめぐる攻防▽高橋杉雄 x 小泉悠が分析 (出演)

2023/5/21	テレ朝 NEWS	【G7 広島に電撃出席】対口反撃で“首脳会談”ゼレンスキー氏の思惑◆日曜スクープ◆(2023年5月21日)
2023/5/23	BS フジ	BS フジプライムニュース▼【越境攻撃?】小泉悠 徹底分析 ウクライナ最新戦況【F-16 供与】
2023/5/31	TBS	なぜ? モスクワ“ドローン攻撃”「決定は下された」反転攻勢を深読み【5月31日(水) #報道 1930】
2023/6/3	ABEMA TIMES	モスクワへのドローン攻撃 小泉悠氏「もっと激しくなる可能性も」ウクライナの反転攻勢との関連を分析
2023/6/6	BS フジ	プライムニュース▼【ヘルソン州ダム破壊】小泉悠 x 東野篤子 x 山下裕貴元陸将 ウクライナ最新戦況 徹底分析【ザポリージャ原発冷却に影響も】<前編>
2023/6/6	BS フジ	プライムニュース▼【Xデーは】小泉悠 x 東野篤子 x 山下裕貴元陸将 ウクライナ反転攻勢の道筋<後編>
2023/6/7	日本テレビ	news zero▼【ウクライナ「ダム攻撃」…誰が? 目的は?】(出演)
2023/6/8	BS 日テレ	【小泉悠 x 渡部悦和】ウクライナ反転攻勢開始か南東部トクマクで攻勢・・・ダム決壊“渡河映像”情報戦激しく【深層 NEWS】
2023/6/13	TBS	反転攻勢 当面の目標どこに? ウクライナ軍が抱える“弱点” 元米特殊部隊の証言【6月13日(火) #報道 1930】
2023/6/14	BS フジ	プライムニュース▼【トランプ前大統領が無罪主張】機密文書裁判の行方とアメリカ大統領選への影響<前編>
2023/6/14	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠徹底解説】小泉悠 x 岡部芳彦 ウクライナ最新戦況 ワグネルと国防相の確執 反プーチン勢力の実情は<後編>
2023/6/21	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠徹底分析】小泉悠 x 東野篤子 ウクライナ最新戦況 徹底分析【ロシア航空戦力にウクライナ苦戦】<前編>
2023/6/21	BS フジ	プライムニュース▼【NATO が空軍演習】小泉悠 x 東野篤子 ウクライナ最新戦況 徹底分析【NATO の対応は】<後編>
2023/6/26	BS 日テレ	【小泉悠 x 東野篤子】プリゴジン氏“武装蜂起”の真相とプーチン氏が「暗殺指令」? 独自取材「東部戦線」反乱影響で新戦【深層 NEWS】

2023/6/26	テレビ朝日	報道ステーション▼“ワグネルの反乱”創設者のプリゴジン氏は消息不明 何が起きている？
2023/6/26	読売新聞オンライン	【深層NEWS】ワグネルの反乱、プーチン氏が「後で突き落とす可能性」…小泉悠氏
2023/6/27	TBS	大統領と反逆者 2人の言葉 プリゴジンの乱 その後は？【6月27日（火）#報道1930】
2023/7/2	NHK	ワグネル反乱 変貌するロシア軍 - NHKスペシャル
2023/7/5	BS日テレ	【小泉悠×高橋杉雄】東部戦線にロシア軍18万人以上投入…独自取材ウクライナ軍反転攻勢“最前線”ロシア新突撃部隊も【深層NEWS】
2023/7/7	BSフジ	プライムニュース▼【小泉悠×高橋杉雄が緊急解説】ウクライナ射程160km アメリカ製ミサイル「パトリオット」でロシア領攻撃か<前編>
2023/7/7	BSフジ	プライムニュース▼【小泉悠×高橋杉雄が徹底分析】ウクライナ最新戦況 反攻1ヶ月 今後の焦点は<後編>
2023/7/11	TBS	衛星写真から読み解く／戦車大增産 ロシア攻めに転じる可能性は【7月11日（火）#報道1930】
2023/7/13	TBS	ひるおび(出演)
2023/7/14	BS日テレ	【小泉悠×高橋杉雄×岡部芳彦】ロシア軍少将解任でまた混乱…独自取材ウクライナ元高官「反転攻勢の戦略」捕虜収容所ロシア兵“告白”【深層NEWS】
2023/7/17	TBS	プリゴジン氏にCIA…ウクライナ戦争 今後の“キーマン”【7月17日（月）#報道1930】
2023/7/17	テレ朝NEWS	グッド！モーニング▼死亡説も出るなか…プリゴジン氏“健在”写真投稿 専門家が指摘する2つの可能性【知っておきたい！】
2023/7/18	BSフジ	プライムニュース▼【小泉悠×高橋杉雄解説】9ヶ月ぶり クリミア橋を水上ドローンで爆破 小泉悠×高橋杉雄 ウクライナ最新戦況【ロシアも自爆型ドローンで報復攻撃】<前編>
2023/7/18	BSフジ	プライムニュース▼【小泉悠×高橋杉雄緊急解説】食糧を武器化に？ウクライナ穀物輸出合意停止の影響 ロシアの思惑とは 小泉悠×高橋杉雄 【小麦価格上昇】<後編>

2023/7/19	NHK	国際報道2023 OSINTで戦争を読み解く 軍事専門家・小泉悠氏
2023/7/19	NHK	国際報道2023▼【動画】ロシア軍の実態に最新の調査手法で迫る 小泉悠氏
2023/7/21	NHK	ニュースウォッチ9▼▽物価高ささまざまな影響・夏の風物詩にも変化?▽新型コロナ(出演)
2023/7/23	BS朝日	【ロシア穀物合意離脱】食糧人質の強硬“黒海封鎖”制裁解除の思惑は◆日曜スクープ◆(2023年7月23日)
2023/7/23	読売テレビ	そこまで言って委員会NP▼AIの是非から最新兵器、火星移住についてまで!各分野の理系スペシャリストたちを緊急招集し、おなじみのメンバーと共に最先端技術の功罪を徹底分析&徹底討論!
2023/7/25	TBS RADIO	【音声配信】「ロシア軍の軍事侵攻から1年5か月。ウクライナ戦争の行方はどうなるのか」ゲスト:小泉悠さん▼2023年7月25日(火)放送分
2023/7/26	TBS	小麦豊作のロシア…プーチン氏の思惑“食料危機”で変わる各国の回避戦略【7月26日(水)#報道1930】
2023/8/2	TBS	ロシア政治は8月に荒れる…プーチン氏が恐れる国民の“武装化”とは【8月2日(水)#報道1930】
2023/8/9	TBS	長崎原爆の日に考える核廃絶はできないのか…“核抑止論”の是非【8月9日(水)#報道1930】
2023/8/11	BS日テレ	【小泉悠×山下裕貴×安田菜津紀】ウクライナ軍“苦戦”の理由?独自取材「おとり地雷」ロシア防衛線の実態…連日のモスクワ攻撃ドローン攻防が激化【深層NEWS】
2023/8/15	NHK	NHKスペシャル「Z世代と“戦争”」
2023/8/21	BS日テレ	【小泉悠×兵頭慎治】スウェーデン戦闘機「グリペン」ウクライナ供与へ協議開始…独自取材!ウクライナ軍「長距離ミサイル」秋に在庫切れ危機【深層NEWS】
2023/8/23	BSフジ	プライムニュース▼侵攻1年半…露の誤算 河東&小泉が徹底総括 プーチン最新演説分析

2023/8/23	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×河東哲夫が分析】南部で進軍 スロビキン氏解任 ウクライナ最新戦況 2023/8/23 放送<前編>
2023/8/23	BS フジ	プライムニュース▼【ロシアが北朝鮮から武器購入?】小泉悠×河東哲夫が分析 兵器をめぐるウクライナ軍とロシア軍 2023/8/23 放送<後編>
2023/8/24	NHK	ニュースウォッチ▼プリゴジン氏死亡情報侵攻1年半ウクライナ 小泉悠氏が徹底分析▽福島の見聞続けてきた漁業者は処理水放出に(出演)
2023/8/27	テレ朝 NEWS	【プリゴジン氏の搭乗機墜落】政敵粛清に“暗殺説”プーチン氏関与は◆日曜スクープ◆(2023年8月27日)
2023/8/27	テレ朝 NEWS	【ザポリージャ南部の拠点到達】防衛線突破で“膠着打開”南下に加速◆日曜スクープ◆(2023年8月27日)
2023/8/27	テレ朝 NEWS	【軍需経済化でルーブル安】原油制裁で“財政圧迫”疲弊経済の構図は◆日曜スクープ◆(2023年8月27日)
2023/8/31	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×長島純】ロシアがアフリカ接近? 背景は【徹底分析】 2023/8/31 放送<前編>
2023/8/31	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×長島純】NATO「北方拡大」でロシアは【スウェーデン・フィンランド】 2023/8/31 放送<後編>
2023/8/31	ニッポン放送	飯田浩司の OK!Cozy up! ▼2023年8月31日(木) W コメンテーター: 峯村健司、小泉悠
2023/8/31	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×長島純】ロシアがアフリカ接近? 背景は【徹底分析】 2023/8/31 放送<前編>
2023/8/31	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×長島純】NATO「北方拡大」でロシアは【スウェーデン・フィンランド】 2023/8/31 放送<後編>
2023/9/1	BS 日テレ	【ワグネルの今後は】プリゴジン氏の後継者は「優秀な軍人」…プーチン大統領との関係は エリザロフ氏の素顔を徹底分析【深層 NEWS】
2023/9/4	BS フジ	プライムニュース▼【今がウクライナに戦機?】小泉悠×岩田清文 南部戦線突破口 最新戦況 徹底解説 【主力同士の戦いへ?】 2023/9/4 放送<前編>

2023/9/4	BS フジ	プライムニュース▼【ロシアに余力なし?】小泉悠×岩田清文 ロシア「大規模軍事演習演習」中止か【ザーパド 2023】2023/9/4 放送<後編>
2023/9/7	TBS	なぜ今?米国務長官のキーウ訪問/最前線の兵士証言 ウクライナ反転攻勢の新段階【9月7日(木) #報道 1930】
2023/9/13	テレビ朝日	報道ステーション▼【4年ぶり2度目の #露朝首脳会談 “蜜月”を誇示】(出演)
2023/9/13	テレビ朝日	【報ステ解説】「兵器以外に“労働力”も」プーチン氏自ら歓待“厚遇”の狙い
2023/9/14	TBS	「誤射」相次ぐロシア軍 何が? 米英ウ極秘会談 新たな反攻作戦とは【9月14日(木) #報道 1930】
2023/9/18	BS フジ	【砲弾足りない?】小泉悠×岩田清文 ロシア望む「北朝鮮兵器」徹底分析 2023/9/18 放送<前編>
2023/9/18	BS フジ	【バフムト集落次々奪還】小泉悠×岩田清文 ウクライナ最新戦況【第72自動車化狙撃旅団を完全に破壊】 2023/9/18 放送<後編>
2023/9/20	TBS	プーチン氏「高支持率」の裏で…“終身独裁”か?“ポスト・プーチン”到来か?【9月20日(水) #報道 1930】
2023/9/21	BS フジ	プライムニュース▼【ロシア黒海艦隊司令部を攻撃】小泉悠×鶴岡路人×名越健郎 ウクライナ最新戦況 徹底分析【南部戦線に影響?】 2023/9/21 放送<前編>
2023/9/21	BS フジ	プライムニュース▼【ポーランド武器供与停止を表明】小泉悠×鶴岡路人×名越健郎 西側陣営のウクライナ支援と連携に亀裂? 2023/9/21 放送<後編>
2023/10/2	BS フジ	プライムニュース▼【トクマク正面 攻防の現状は】小泉悠×岩田清文×小谷哲男 ウクライナ最新戦況 2023/10/2 放送<前編>
2023/10/2	BS フジ	プライムニュース▼【日本はどこまで踏み込める?】小泉悠×岩田清文×小谷哲男 ウクライナが各国と武器共同生産 2023/10/2 放送<後編>
2023/10/3	BS 日テレ	深層NEWS▽ウクライナ反転攻勢を“軍事地理学”で独自分析! 山下裕貴×小泉悠

2023/10/3	読売新聞オンライン	[深層NEWS] ウクライナ軍の反転攻勢進まなくても「支援する国は忍耐を」…小泉悠氏
2023/10/6	TBS	砲身不足は消耗？ウ軍の作戦？「10月決戦」ロシア軍内部で何が？【10月6日（金）#報道1930】
2023/10/8	テレ朝NEWS	【プーチン氏が核戦力誇示】核搭載ミサイル“量産化”脅威で欧米牽制◆日曜スクープ◆(2023年10月8日)
2023/10/8	テレ朝NEWS	【特殊部隊クリミア上陸】黒海艦隊は“本土避難”後退ロシアの防衛は◆日曜スクープ◆(2023年10月8日)
2023/10/11	BSフジ	プライムニュース▼プーチン“誤算”のルーツ 「独ソ戦」に見る決断と失敗（出演）
2023/10/11	BSフジ	【ロシアが偽情報を拡散？】小泉悠×河西陽平 緊迫の中東最新情勢 2023/10/11 放送<前編>
2023/10/11	BSフジ	【ちゃんとした情報が集まらない？】小泉悠×河西陽平 プーチン“誤算”のルーツ 2023/10/11 放送<後編>
2023/10/13	BS11	報道ライブ インサイドOUT 「なぜ侵攻されたのか?! ウクライナと核」
2023/10/13	BS11	【ウクライナと核】侵攻は9年前に始まった ゲスト：小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター 専任講師）VTR出演：マリアナ・ブジェリン（ハーバード大学上席研究員）10月13日（金）インサイドOUT
2023/10/13	BS日テレ	【小泉悠×岩田清文】「数日中に重要作戦」地上戦へ…イスラエル軍侵攻シナリオは？ガザ地区に張り巡らされた“地下トンネル”に苦戦か「110万人退避」緊迫の現地は【深層NEWS】
2023/10/13	読売新聞オンライン	[深層NEWS] イスラエル軍地上戦なら「これまでにない規模の民間人の犠牲が出る」…小泉悠氏
2023/10/18	TBS	バイデン大統領がイスラエルに…イランの関与は？元司令官「準備はできている」【10月18日（火）#報道1930】
2023/10/20	飯田浩司のOK!Cozy up!	2023年10月20日（金）コメンテーター：峯村健司 小泉悠
2023/10/24	BSフジ	【小泉悠徹底分析】ウクライナ 中東 最新情勢 鈴木一人×小泉悠 2023/10/24 放送<前編>

2023/10/24	BS フジ	【民間人に対するいかなる暴力も！？】小泉悠×鈴木一人 プーチン中東戦略 徹底検証 2023/10/24 放送<後編>
2023/10/26	TBS	人質数日中に解放？交渉の行方は／ガザ攻撃の衛星写真から見えたこと【10月26日（木）#報道1930】
2023/10/29	NHK ラジオ第1	著者からの手紙『終わらない戦争(文春新書)』小泉悠
2023/10/31	読売新聞オンライン	[深層NEWS] ロシアの攻勢は「有権者への最低限の言い訳になるとの思惑か」…小泉悠氏
2023/10/31	BS 日テレ	【小泉悠×山下裕貴】ウクライナ東部アウディーイウカめぐる攻防“欧州最大”工場がカギに…ウクライナ“防衛部隊”を独自取材【深層NEWS】
2023/11/1	TBS ラジオ	『荻上チキ・Session』 11月1日(水)
2023/11/7	BS フジ	プライムニュース▼『反撃狙うロシアの標的 中東紛争が起こす誤算 兵頭慎治 小泉悠 松田拓也』
2023/11/7	BS フジ	プライムニュース▼【精鋭部隊がアウディイウカ意図は】ウクライナ最新戦況 小泉悠×兵頭慎治×松田拓也 【第47機械化旅団】2023/11/7 放送<前編>
2023/11/7	BS フジ	プライムニュース▼【最後の3億ドル？】米政府 ウクライナ追加支援の今後は 小泉悠×兵頭慎治×松田拓也 2023/11/7 放送<後編>
2023/11/8	TBS	ウクライナ総司令官が…/「膠着続けば敗戦も…」【11月8日（水）#報道1930】
2023/11/10	読売新聞オンライン	[深層NEWS] ウクライナ軍の反転攻勢「特定の兵器があれば勝てるわけではない」…小泉悠氏
2023/11/10	BS 日テレ	【小泉悠×松村五郎】ロシア元大佐が“危機感”ウクライナ装甲車が渡河作戦成功「無人機量産」で大規模攻撃計画も…プーチン氏露大統領選へ思惑は？【深層NEWS】
2023/11/12	NHK	日曜討論▼ガザ危機 国際社会は 日本は（鈴木一人、小泉悠）
2023/11/16	TBS	ロシア軍 大規模インフラ攻撃か/ウクライナ軍 「冬の反転攻勢」どう戦うのか【11月16日（木）#報道1930】

2023/11/19	テレ朝 NEWS	【ガザ最大病院突入】院内制圧で“ハマス拠点主張”人質解放の協議は◆日曜スクープ◆(2023年11月19日)
2023/11/19	テレ朝 NEWS	【渡河成功で橋頭堡を構築】南部で前進“反攻加速”膠着打開のカギは◆日曜スクープ◆(2023年11月19日)
2023/11/22	NHK	ニュースウォッチ9▽ガザ・人質解放か▽北朝鮮衛星予告期間前に異例の打ち上げ
2023/11/22	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×熊倉潤 徹底解剖】プーチン&習近平の“独裁像”【カレンダーからみえるカリスマ性?】2023/11/22 放送<前編>
2023/11/22	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×熊倉潤 徹底分析】中露連携で目指す世界 【“独裁者”に囲まれた日本の備えは】 2023/11/22 放送<後編>
2023/11/24	NHK	NHKニュース7 人質解放・戦闘休止 履行の遅れはなぜ?
2023/11/29	TBS	ロシアが画策 それとも…/政権転覆作戦「マイダン3」とは… 【11月29日(水) #報道1930】
2023/11/30	BS フジ	【小泉悠×平岩俊司】ロシア北朝鮮 接近の脅威を検証【偵察衛星「万里鏡1号」の実力は】2023/11/30 放送<前編>
2023/11/30	BS フジ	【小泉悠徹底解説】ウクライナ最新戦況 【マイナス40度までなら戦闘できる?】2023/11/30 放送
2023/12/3	テレ朝 NEWS	【死傷率が侵攻後最高】ロシア軍損失顧みず“突撃作戦”戦術の背景は◆日曜スクープ◆(2023年12月3日)
2023/12/5	テレ朝 NEWS	ロシア軍“侵攻後最多の死傷者” 犠牲をいとわぬ海軍戦術の脅威と思惑
2023/12/11	TBS	ウクライナ大統領 vs 総司令官 深まる溝の一方で… “懇願”されてプーチン氏「出馬宣言」の“茶番”【12月11日(月) #報道1930】
2023/12/13	TBS ラジオ	荻上チキ・Session 特集「プーチン政権によるウクライナ侵攻、2023年の情勢の変化と今後」
2023/12/14	飯田浩司の OK!Cozy up!	2023年12月14日(木) Wコメンテーター 峯村健司、小泉悠

2023/12/18	TBS	ウクライナの連れ去り少年まで/戦場に人を送り込む”ロシアの手口”【12月18日(月) #報道 1930】
2023/12/19	テレ朝 NEWS	ロシアのアクロバット機 日本海飛来 記念撮影が目的? 専門家も「不可解な行動」【グッド!モーニング】(2023年12月19日)
2023/12/22	BS 日テレ	【小泉悠×兵頭慎治】プーチン氏語った2024年戦い「4つの優先課題」露兵器生産能力衰えないワケ…最前線部隊を独自取材、指揮官「砲弾不足」訴え…ウクライナ軍“勝敗”シミュレーション【深層 NEWS】
2023/12/24	BS 朝日	日曜スクープ 拡大4時間 SP～世界を分断“2つの戦争”の行方～
2023/12/25	BS フジ	プライムニュースデラックス▼岸田政権、世界の紛争、習政権3期目 2023年を徹底総括
2023/12/26	TBS	ウクライナ戦争の現在地/プーチン氏が“停戦に関心”その狙いは【12月26日(火) #報道 1930】
2023/12/30	TBS	報道の日2023 ～対立する世界～ 戦争×格差×マネー(出演)
2024/1/12	BS 日テレ	【ロシア軍が北朝鮮製ミサイル使用か…近く大規模地上作戦?“飽和攻撃”の狙いウクライナ軍“報復”今後は】小泉悠×兵頭慎治【深層 NEWS】
2024/1/15	TBS	ミサイルの性能実験を「ロシア軍代行」? 深まる北朝鮮とロシアの連携【1月15日(月) #報道 1930】
2024/1/16	飯田浩司の OK!Cozy up!	2024年1月16日(火) コメンテーター:小泉悠
2024/1/17	NHK	ニュースウォッチ9▼【解説】ロシアと北朝鮮 接近の理由は 小泉悠准教授に聞く
2024/1/22	TBS	オホーツク海のロシアの核は… / ウクライナを敗北させない“プランB”【1月22日(月) #報道 1930】
2024/1/28	テレ朝 NEWS	【ウクライナ戦略守勢に転換か】防衛機軸に戦力回復“反転攻勢”武器供与で難局打開は【日曜スクープ】(2024年1月28日)
2024/1/29	TBS	プーチン氏と共鳴? トランプ氏 すでに影響も…【1月29日(月) #報道 1930】

2024/1/30	BS フジ	プライムニュース▼ロシア軍機墜落の真相は？米支援が見通せない中でのウ軍の戦略は？ロシア大統領選が迫る中で、両国の今後を小泉悠氏と兵頭慎治氏が徹底分析する。
2024/1/31	飯田浩司の OK!Cozy up!	飯田浩司の OK! Cozy up!  2024 年 1 月 31 日 (水) コメントーター:峯村健司、小泉悠
2024/2/2	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×日本のホワイトハッカー第一人者】「OSINT」は戦争をどう変えたのか 2024/02/02 放送
2024/2/4	BS フジ	プライムサロン(出演)
2024/2/7	TBS	画像を認識して突っ込む「ロシアは AI ドローンを作っている」 【2 月 7 日(水) #報道 1930】
2024/2/9	日テレ	【深層NEWS】岩田清文×小泉悠 ゼレンスキー大統領がザルジニー総司令官の解任を発表。両氏が“笑顔で握手”円満交代アピールの狙いは。ウクライナ侵攻 2 年で軍指導部刷新表明。前線兵士の士気に影響は。
2024/2/13	BS フジ	【カールソン氏がプーチン氏独占取材】小泉悠×駒木明義 徹底分析 2024/2/13 放送<前編>
2024/2/13	BS フジ	【プーチン氏の選挙戦略】恐怖政治と東アジアへの影響は？小泉悠×駒木明義 徹底分析 2024/2/13 放送<後編>
2024/2/19	NHK	NHK ジャーナル◆特集 ウクライナ公共放送幹部が語る 戦時下の放送
2024/2/23	BS11	報道ライブインサイド OUT▼【ウクライナ侵攻から 2 年】今後の展望は？ゲスト：廣瀬陽子（慶應義塾大学教授）小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）倉井高志（元ウクライナ大使）
2024/2/23	TBS	ロシアとウクライナ要人に直撃取材／ウクライナ侵攻から 2 年 世界の今と今後 【2 月 23 日(金) #報道 1930】
2024/2/24	NHK	NHK NEWS▼【詳細】ウクライナへの軍事侵攻から 2 年 各地の動きは
2024/2/25	NHK	日曜討論▼ウクライナ侵攻 2 年 揺らぐ世界 戦争終結は
2024/2/26	BS フジ	プライムニュース▼【露ウ戦争 3 年目突入】この 2 年の戦況/政治的転機を徹底分析 兵頭慎治×小泉悠 2024/2/26 放送<前編>

2024/2/26	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×兵頭慎治 徹底分析】ウクライナ支援停滞のリスクとは？ 2024/2/26 放送<後編>
2024/2/27	TBS ラジオ	荻上チキ・Session▼特集「小泉悠さんと考える。ロシアによるウクライナ侵攻から2年の現状と展望」
2024/2/29	TBS	報道1930▼総理政倫審で何を語る▼口軍関係者に闇で販売、米衛星通信の密輸実態
2024/2/29	TBS	プーチン氏「年次教書」何語る？ なぜ？米「スターリンク」口軍が活用【2月29日（木）#報道1930】
2024/3/1	NHK	ロシア ウクライナ侵攻 プーチン氏の戦争さらに長期化？小泉悠氏がわかりやすく解説 キーウ再侵攻は？ 日本どう対応
2024/3/5	飯田浩司の OK!Cozy up!	飯田浩司の OK! Cozy up !  2024年3月5日（火）コメンテーター:小泉悠
2024/3/6	NHK	2024年2月25日放送「ウクライナ侵攻2年 揺らぐ世界 戦争終結は」（前半）
2024/3/6	NHK	2024年2月25日放送「ウクライナ侵攻2年 揺らぐ世界 戦争終結は」（後半）
2024/3/12	BS 日テレ	【深層 NEWS】衛星画像で見るウクライナ軍「防衛線」積極的防衛の現状分析▽東部完全制圧狙う露新戦術、改良型「滑空誘導弾」犠牲いとわぬ「人海戦術」▽プーチン氏「核のシナリオ」改良型ツポレフ160M
2024/3/18	TBS	プーチン氏圧勝の裏側で何が 監視団体「信用できない選挙」不正の手口は…【3月18日(月)#報道1930】
2024/3/18	NHK	ニュースウォッチ9▽ロシア一方的併合10年クリミア半島の今▽子どもの睡眠不足
2024/3/19	BS フジ	プライムニュース▼【プーチン圧勝】ウクライナ戦況への影響と各国の思惑 杉山晋輔×小泉悠 2024/3/19 放送<前編>
2024/3/19	BS フジ	プライムニュース▼【もしトラとプーチン】中国・北朝鮮との連携と対日戦略は？ 杉山晋輔×小泉悠 2024/3/19 放送<後編>
2024/3/21	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×福田充】戦時に交錯するデマにどう対応？【ロシアが放つデマの脅威とは】2024/3/21 放送<前編>

2024/3/21	BS フジ	プライムニュース▼【小泉悠×福田充】事実より真実が上回る？ SNS との上手な付き合い方とは 2024/3/21 放送<後編>
2024/3/25	NHK	【動画】小泉悠准教授の分析 ロシアの核実験場に動き プーチン大統領の戦略的な核兵器による威嚇とは？
2024/3/27	BS フジ	プライムニュース▼【ロシアはテロに弱い？】IS テロ ロシアが抱える多正面リスク 高田克樹×小泉悠×黒井文太郎 2024/3/27 放送<前編>
2024/3/27	BS フジ	プライムニュース▼【高田克樹×小泉悠×黒井文太郎】火力に見る ウクライナ劣勢のワケ 2024/3/27 放送<後編>
2024/3/28	日テレ	【深層 NEWS】モスクワ銃乱射テロ、小泉悠×青木健太の徹底分析。実行犯タジク国籍の背景。諜報機関が兆候見逃しナゼ？▽プーチン政権“対テロ戦争”の歴史▽プーチン政権「侵攻」と「テロ対策」二正面

### ③山口亮 特任助教

日付	媒体	番組名・タイトル等
2023/4/4	テレビ朝日	大下容子ワイド！スクランブル(出演)
2023/4/6	読売テレビ	【ヨコスカ解説】蔡総統が米・下院議長と会談、一方習国家主席は仏・マクロン大統領を招待…背景にある中国の“怒り”と“焦り”
2023/4/13	読売テレビ	【ヨコスカ解説】驚異の早さで進む北朝鮮のミサイル開発…その裏には金正恩総書記が恐れる“斬首作戦” Jアラート“訂正”日本は大丈夫？
2023/4/13	テレビ朝日	【報ステ】新型“発射失敗”？北朝鮮ミサイル「レーダーから消失」Jアラートで混乱も
2023/4/27	読売テレビ	かんさい情報ネット ten
2023/4/29	読売テレビ	ウェークアップ▼米韓ワシントン宣言と北朝鮮の核戦力&軍事偵察衛星について
2023/5/25	読売テレビ	【ヨコスカ解説】ロシア首相が中国訪問で西側諸国と深まる対立…日本はどうする？NATO との悩ましい距離感
2023/5/29	読売テレビ	【報ステ解説】「ルール守ってるアピールか」狙いは？北朝鮮“衛星ロケット”発射通告(2023年5月29日)

2023/7/27	読売テレビ	【ヨコスカ解説】朝鮮戦争休戦 70 年 似て非なる“戦争”だが共通点も…ロシアによるウクライナ軍事侵攻に投げかける教訓とは
2023/7/28	NHK	ニュースウォッチ 9 ▼北朝鮮 軍事パレードの映像公開 軍事力と中朝 3 か国結束誇示
2023/8/18	読売テレビ	【ヨコスカ解説】数々の歴史的合意がなされた、重要外交の舞台「キャンプ・デービッド」いま会談のワケと日米韓が抱く脅威
2023/8/21	NHK	NHK ニュース 7 ▼あす関係閣僚会議開催 処理水放出時期判断へ
2023/8/24	読売テレビ	読売テレビ かんさい情報ネット ten (出演)
2023/9/15	読売テレビ	【ヨコスカ解説】プーチン大統領が金総書記に桁違いの「おもてなし」友好ムードの露朝会談、映像からみる両国の狙い
2023/10/1	NHK	デジタル・アイ 北朝鮮 独裁国家の隠された“リアル” - BS1 スペシャル
2023/11/22	読売テレビ	朝生ワイド す・またん! Zip! 「北朝鮮の軍事偵察衛星」
2023/11/22	テレビ朝日	【報ステ解説】「目的は“ミサイルの目”」追加発射も宣言…北朝鮮“偵察衛星”成否は(2023年11月22日)
2023/11/23	テレ朝 News	【報ステ解説】「目的は“ミサイルの目”」追加発射も宣言…北朝鮮“偵察衛星”成否は
2023/11/24	読売テレビ	朝生ワイド す・またん! Zip! 「北朝鮮の軍事偵察衛星」
2023/11/27	読売テレビ	朝生ワイド す・またん! Zip! 「北朝鮮の軍事偵察衛星」
2023/12/12	読売テレビ	朝生ワイド す・またん! Zip! 「中国の海洋戦略」
2023/12/13	読売テレビ	朝生ワイド す・またん! Zip! 「台湾総統選挙と中国の動き」
2023/12/18	読売テレビ	朝生ワイド す・またん! Zip! 「北朝鮮のミサイル発射について」
2024/2/9	読売テレビ	【ヨコスカ解説】統一路線を完全に転換か? 韓国ドラマを見て「公開裁判」重労働 12 年の刑 国民は飢餓に苦しむ一方ハッカー養成等で外貨獲得に没頭
2024/3/7	NHK	NHK 国際ニュースナビ ▼北朝鮮ミサイル なぜ発射? 「多様化」のねらいは 【3月7日版】

④豊田耕平 連携研究員

日付	媒体	番組名・タイトル等
----	----	-----------

2023/5/16	テレビ朝日	「大下容子ワイド！スクランブル」 (VTR 出演)
2023/10/15	フジテレビ	日曜報道 The Prime

### ⑤松田拓也 特任研究員

日付	媒体	番組名・タイトル等
2023/10/28	NHK	サタデーウォッチ 9▼アメリカのイスラエル情勢への対応などについて (映像出演)
2023/11/7	BS フジ	プライムニュース▼【精鋭部隊がアウディイウカ意図は】ウクライナ最新戦況 小泉悠×兵頭慎治×松田拓也 【第 47 機械化旅団】 2023/11/7 放送<前編>
2023/11/7	BS フジ	プライムニュース▼【最後の 3 億ドル?】米政府 ウクライナ追加支援の今後は 小泉悠×兵頭慎治×松田拓也 2023/11/7 放送<後編>

## 2.新聞・雑誌等

### ①池内恵 教授

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/5/8	政策シンクタンク PHP 総研	歴史的転換点の日本外交：「多極世界」の誘惑に揺れる中東 - 『Voice』2023 年 6 月号特集 -
2023/6/1	スカイニュース アラビア	شرق آسيا وتعدد الأقطاب وأمن العالم... في حوار مع البروفيسور ساتوشي إكي أوتشي
2023/6/12	外務省	外交専門誌『外交』Vol.79 「イラク戦争から 20 年の中東」
2023/6/12	スカイニュース アラビア	شرق آسيا وتعدد الأقطاب وأمن العالم.. في حوار مع البروفيسور ساتوشي إكي أوتشي   #برنامج_مواجهة
2023/7/22	Foresight	世界の中でその地位を転じ続ける中東の姿を見続ける   池内恵の中東通信 (会員記事)
2023/7/22	Foresight	非国家主体から国家主体へ   池内恵の中東通信 (会員記事)
2023/7/22	Foresight	「脱エスカレーション (de-escalation)」が現在の中東政治のトレンド・キーワード   池内恵の中東通信 (会員記事)
2023/8/3	The Jerusalem Post	How do Israel-Japan ties impact the Jewish state in the Middle East?

2023/9/24	dikGAZETE.com	Türkiye, Çin ve Japonya ilişkilerinin tarihi İstanbul'da düzenlenen konferansta konuşuldu (英タイトル: The history of Türkiye, China and Japan relations was discussed at the conference held in Istanbul)
2023/10/8	Foresight	イスタンブールからイスラエル・ガザの「戦争」を見る：池内恵   池内恵の中東通信
2023/10/10	朝日新聞デジタル	試されるバランス外交 岸田首相、イスラエル・パレスチナと協議調整 [岸田政権] (会員有料記事)
2023/10/11	朝日新聞デジタル	バランス外交模索 原油・邦人保護… イスラエル・パレスチナ双方と電話協議、政府調整 (会員有料記事)
2023/11/6	PHP 研究所	Voice 2023 年 12 月号「持たざる国」を襲う地政学リスク 岩瀬昇・池内恵対談
2023/11/10	日本経済新聞	中東、日本が「等距離」の理由 米欧と一線画しエネルギー外交 (会員有料記事)
2023/12/12	日本経済新聞	ハマス、10 月奇襲を正当化「パレスチナ国家認めよ」 (会員有料記事)
2023/12/19	日本経済新聞	「Think!」3 周年記念イベント「2024 年大予測 激動の世界を読み解く」 第 1 部 (12:00~13:00) イスラエル・ハマス衝突/ロシアのウクライナ侵攻

## ②小泉悠 准教授

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/4/4	ニューズウィーク日本版	小泉悠×河東哲夫・超分析「仮に停戦してもウクライナが破る可能性もある」
2023/4/4	ニューズウィーク日本版	プーチンの恥部を知っている男、ガバナンスが失われつつあるロシア 河東哲夫×小泉悠
2023/4/7	ニューズウィーク日本版	【小泉悠×河東哲夫 超対談】ウクライナ戦争の「天王山」と知られざる爆破陰謀論 (前編/全3回)
2023/4/13	FRIDAY デジタル	小泉 悠 × 東野篤子 スペシャリスト 2 人が大議論「プーチン大統領が” チェゲト” を開くとき」

2023/4/14	ニュースウィーク日本版	【小泉悠×河東哲夫 超対談】制裁の影響、銃後ロシアの戦意・士気は？プーチンら KGB 出身者たちが持つ「謎の世界観」（中編／全3回）
2023/4/20	北海道新聞	ロシア太平洋艦隊の演習、複数の狙い 原潜訓練、過去最大規模か 小泉悠・東大先端科学技術研究センター専任講師（有料記事）
2023/4/24	EnterpriseZine	小泉悠氏と伊東寛氏が徹底討論 ウクライナを巡るサイバー戦、今後日本にも起こり得る有事へどう備えるか
2023/4/27	PRESIDENT Online	ロシアは負けそうになったら核兵器を使う…それでも「ハルキウの敗北」でプーチンが核を使わなかった理由 手段はあるし、研究もしていたし、訓練では何回もやっている
2023/4/30	日本経済新聞	核の威嚇戦略、ロシア幅広く利用 小泉悠・東大専任講師（有料記事）
2023/5/9	自由民主党	「あらゆる情報把握し対策を」経済安保本部が小泉悠氏からヒアリング
2023/5/13	朝日新聞デジタル	「異例中の異例」動員の内実は 小泉悠氏が証言から読み解くワグネル [ウクライナ情勢]
2023/5/19	新潮社 Foresight	強化される「オホーツクの要塞」――極東ロシア軍の実像と日本の安全保障：小泉悠
2023/5/27	毎日新聞デジタル	「ロシアが日本侵攻」報道を打ち消した小泉悠さん 職人芸の分析手法（有料記事）
2023/6/6	PHP 研究所	Voice 2023年7月号▼今も続くロシアの「いちばん長い日」小泉悠 & 與那覇潤
2023/6/13	朝日新聞デジタル	衛星が見せる反転攻勢 ウクライナ軍が砲撃か 小泉悠氏が読み解く [ウクライナ情勢]
2023/6/20	NHK	ウクライナ反転攻勢 最新状況は？ロシア軍ウォッチャーが分析
2023/6/24	日本海新聞	戦争、日本ならどうなる 小泉氏、安全保障テーマに 日本海政経懇話会中・西部例会（有料記事）
2023/6/25	毎日新聞デジタル	プリゴジン氏撤収 識者「諦めるかは分からず」「一定の勝利」

2023/6/30	Foresight	「プリゴジンの乱」は「プーチンの終わりの始まり」のように は見えない
2023/7/1	山形新聞	戦争、再来年まで続く 東京大先端科学技術研究センター専任 講師・小泉悠氏が講演
2023/7/1	二松學舎大学	二松學舎大学ニュースマガジン「學」vol.65 特集「ーロシア・ ウクライナ問題から考えるー 世界の中にいる私 国境とアイデ ンティティ」
2023/7/9	文藝春秋 電子版	プーチンが元気ないぞ
2023/7/23	文春オンライン	《「タマとったる！」から一転》小泉悠・高橋杉雄が感じ取っ た「プーチンの弱気」
2023/7/28	Real Sound	軍事評論家 小泉悠が観た『GCHQ：英国サイバー諜報局』 日 本が直面するシナリオに近い？
2023/8/4	毎日新聞デジタル	論点：戦争と平和 ウクライナ情勢と国益 インタビュー 小 泉悠・東京大専任講師
2023/8/5	二松學舎大学	『學 vol.65』特集：ロシア・ウクライナ問題から考えるー世界 の中にいる私 国境とアイデンティティ
2023/8/9	じんぶん堂	「合理性」と「非合理性」から読み解く国際政治——小泉悠さ ん・評『「個人化」する権威主義体制』
2023/8/31	共同通信	北方領土からミサイル搬出と分析 ロシア軍、ウクライナ戦に 転用か
2023/8/31	共同通信	Russia has moved missiles off isles disputed with Japan: expert
2023/9/7	文春オンライン	〈プーチンが本気で“終身独裁”を狙い始めた？〉プリゴジンが “他の暗殺とは扱いが違う”理由
2023/9/8	軍事研究	「軍事研究」2023年10月号 「総力戦体制に舵を切るロシア」 小泉悠
2023/9/22	山陰中央新報デ ジタル	ロシアとウクライナ、そして世界はどこへ向かうのか エネル ギー、平和構築、軍事研究の専門家3人に聞く
2023/9/25	Forbes JAPAN	Forbes JAPAN 2023年11月号 北野唯我「未来の職業道」フ ァイル 小泉悠／軍事アナリスト ロシアのウクライナ侵攻は なぜ起きたか？

2023/9/27	47NEWS	ロシアとウクライナ、そして世界はどこへ向かうのか エネルギー、平和構築、軍事研究の専門家3人に聞く
2023/9/29	月刊軍事研究	2023年11月号別冊『ウクライナ戦争大反撃戦』 軍改革から探る「ウクライナ軍強さの秘密」…小泉悠
2023/10/21	読売新聞オンライン	ウクライナの被害記録を可視化「戦争は嫌だという思い継承される」…東大・渡邊英徳教授・小泉悠専任講師
2023/10/27	朝日新聞デジタル	ガザ情勢、ウクライナはどうすべきだった？ 小泉悠氏の視点（有料記事）
2023/11/4	Forbes JAPAN	ロシアのウクライナ侵攻は、なぜ起きたか？ 専門家が語る「これからの安全保障」
2023/11/10	軍事研究	軍事研究 2023年12月号 小泉悠「ショイグ計画による『ロシア軍改革』」▼ 消耗戦に陥った戦時下で進む部隊改編と新設。ショイグ計画の実態と将来を考察
2023/11/16	新潮社 Foresight	「冷戦終結なんて大したことはない」――なぜ高坂正堯は「ベルリンの壁」崩壊直後に戦争の再来を〈予言〉できたのか   田所昌幸×細谷雄一×小泉悠
2023/12/19	日本経済新聞	「Think!」3周年記念イベント「2024年大予測 激動の世界を読み解く」 第1部（12:00～13:00）イスラエル・ハマス衝突/ロシアのウクライナ侵攻
2023/12/21	朝日新聞デジタル	反転攻勢「失敗」のウクライナ、50万人動員検討の背景は 小泉悠氏 [ウクライナ情勢]
2023/12/22	日経ビジネス	ウクライナ「継戦も地獄、停戦も地獄」 小泉悠氏が読む戦況（会員有料記事）
2023/12/26	日本経済新聞	2024年大予測 激動の世界を読み解く
2023/12/27	産経ニュース	「正論」欄の執筆陣、新たに11人を迎える さまざまな分野の第一線で活躍する専門家
2024/1/10	軍事研究	「軍事研究」2024年2月号：「ロシアの継戦能力は何故尽きないのか？」
2024/2/1	産業経済新聞社	正論 2024年03月号 ■斎藤 勉×小泉 悠/戦争は4年目突入へ 日本に何ができるか

2024/2/8	朝日新聞デジタル	第1回：人はなぜ「破滅」にひかれるのか 沼野恭子氏の問いと小泉悠氏の反省（会員有料記事）
2024/2/9	朝日新聞デジタル	第2回：ロシアの歴史はなぜ「極端」に振れてきたか 沼野恭子氏が唱える仮説（有料会員記事）
2024/2/9	産経ニュース	<正論>ウクライナに日本ができること 東京大学先端科学技術研究センター准教授・小泉悠（有料会員記事）
2024/2/19	HTB 北海道ニュース	ルール無視に管理体制の甘さも 自衛隊から払い下げられた高機動車を追跡して見えてきた実態とは
2024/2/22	共同通信社	「特集」ウクライナ戦争 「地政学」を問う私たちはどんな世界に生きたいか
2024/2/23	朝日新聞デジタル	小泉悠氏・沼野恭子氏が異色の対談 ウクライナ侵攻2年
2024/2/23	日本経済新聞	ロシアの兵器産業崩れず 戦時動員と迂回調達で持続（会員記事）
2024/2/23	産経ニュース	日本のウクライナ支援、国益のために必要 東京大先端科学技術研究センター・小泉悠准教授 ウクライナ侵略から2年（有料会員記事）
2024/2/24	ダイヤモンド・オンライン	ドローン戦争と旧来型消耗戦「ウクライナが再び耐える年に」小泉悠氏が読む戦争3年目  小泉悠・東京大学先端科学技術研究センター准教授インタビュー（前編）
2024/2/25	ダイヤモンド・オンライン	「核の時代でも侵略戦争は起きた」ウクライナ戦争から日本が学ぶべき安全保障の教訓   小泉悠・東京大学先端科学技術研究センター准教授インタビュー（後編）
2024/2/25	日本経済新聞	軍事評論家・小泉悠さん 平和を願い、安全保障を論ずる（有料会員記事）
2024/2/28	Numero TOKYO	【最新号】ヌメロ・トウキョウ 2024年4月号「Mother Nature」  戦争と平和について考えよう
2024/3/8	月刊軍事研究	「軍事研究」4月号 ウクライナ軍総司令官交代の真相 小泉悠
2024/3/13	中央公論.jp	細谷雄一×東野篤子×小泉 悠「ウクライナ戦争が変えた日本の言論地図」

2024/3/22	経済界	経済界 2024年5月号▼「日本の軍事力の欠点は兵器の生産・復帰能力」
2024/3/25	NEWS ポストセブン	週刊ポスト 2024年4月5日号◆プーチン圧勝で「新・悪の枢軸」（ロシア／北朝鮮／イラン）誕生 ・小泉悠
2024/3/27	NEWS ポストセブン	プーチン氏、大統領選圧勝で事実上の「スターリン超え終身独裁」へ ウクライナ戦争は長期化必至、注視すべきはロシア優位を支える北朝鮮とイラン

③国末憲人 特任教授

日付	媒体	紙面、雑誌名
2024/1/17	公益産業研究調査会	『公研』2024年1月号 プチ「特別軍事作戦」症候群／国末憲人
2024/1/19	Foresight	ナゴルノ・カラバフ紛争の基層に根ざす「マトリョーシカ・ナショナリズム」：国末憲人
2024/2/13	nippon.com	足並み乱れる各国、鍵は長期的なアプローチに一欧州から見たガザ紛争
2024/2/14	Foresight	初のカトリック系首相が導く？ 北アイルランド「非承認国家」としての繁栄への道：国末憲人
2024/3/29	外交	『外交』Vol.84 Mar./Apr. 2024▼座談会「一〇年戦争」がもたらした国際社会の変質
2024/4/4	日本新聞協会	『新聞研究』目次 2024年4月号（No.863）▼激動の時代の組織ジャーナリズム——ロシア・ウクライナ戦争が問う使命

④山口亮 特任助教

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/4/5	NK PRO	How GSOMIA can springboard better deterrence efforts against North Korea
2023/4/12	Deutsche Welle (ドイツ)	Macron's comments in China cause concern in Japan
2023/4/14	NK NEWS	Leaked US documents raise questions about North Korea's missile capabilities

2023/4/24	NK NEWS	Tokyo orders military to shoot down debris from North Korean satellite launch
2023/4/26	NK NEWS	North Korean nukes and deterrence doubts loom as Yoon and Biden set to meet
2023/5/4	NK NEWS	US invited ROK and Japanese admirals aboard nuclear submarine, new photos show
2023/5/8	NK NEWS	Seoul says Japan could be included in US-ROK nuclear planning, then backtracks
2023/5/8	9DASHLINE	Japan's defence plans: What matters is implementation
2023/5/16	South China Morning Post	Could US-Japan-South Korea meeting lead to Washington Declaration's extension?
2023/5/23	NK PRO	By linking radars, ROK and Japan reduce blind spots around North Korean missiles
2023/6/2	時事ドットコム	衛星打ち上げ、ICBM技術利用 写真公開で正当性訴えー北朝鮮
2023/6/6	South China Morning Post	Japan mulls erasing tattoo ban as military struggles to attract young recruits
2023/6/29	thanhnien.vn	Ngoại giao cây tre Việt Nam giữa biến động toàn cầu
2023/6/30	South China Morning Post	Does Taiwan official's Japan visit reflect 'new reality' of Tokyo-Taipei ties?
2023/7/2	South China Morning Post	China stokes tensions, opposition to US bases in Japan's Okinawa
2023/7/6	The Japan Times	Defense engagement between Japan and Italy picks up pace
2023/7/10	NK NEWS	North Korea accuses Japan of bribing IAEA to approve Fukushima water discharge
2023/7/25	The Japan Times	Nuclear Consultative Group strengthens Northeast Asian deterrence
2023/7/27	South China Morning Post	Japan seeks to ease arms export rules in bid to be 'good actor' in Ukraine war
2023/7/28	NK NEWS	Why North Korea played favorites with Russia over China at military parade

2023/7/28	NK PRO	How North Korea's new advanced drones change the game for the US and ROK
2023/8/4	South China Morning Post	Can Japan and South Korea seal 'historic' security alliance at US summit?
2023/8/17	DW	Japan's tech industry needs Africa's critical mineral
2023/8/18	Newsweek	How China, Russia, North Korea can counter Biden's Asia allies defense pact
2023/8/28	NK PRO	What North Korea's new copycat drones may owe to friends and cyber spies
2023/8/29	South China Morning Post	Will transparency over Fukushima water test results help Japan win back critics?
2023/8/30	NK PRO	Chinese ships appears to join race to recover North Korean space rocket wreckage
2023/9/12	新潮社 Foresight	北朝鮮が「軍事偵察衛星」打ち上げで追求する「非対称戦重視」を正確に捉えよ
2023/9/13	NK PRO	How Russian help could enable North Korea's space program to finally lift off
2023/9/20	NK PRO	Why interoperability remains a hurdle for trilateral cooperation on North Korea
2023/9/27	NK PRO	North Korea faces daunting challenge in modernizing its archaic naval fleet
2023/10/3	クーリエ・ジャポン	北朝鮮の後継者と目される、金ジュエ（とされる少女）の「三位一体」説とは？   金正恩の娘が使い分ける「3つの顔」
2023/10/5	NK NEWS	North Korean hackers targeting ROK shipbuilders to bolster navy, Seoul says
2023/10/17	South China Morning Post	Japan-South Korea ties 'positive' after Israel evacuation aid, but could a new leader 'turn things upside down'?
2023/10/25	South China Morning Post	Israel-Gaza war: can Japan leverage its Middle East ties to create dialogue, defuse tensions?
2023/10/26	NK NEWS	US, ROK and Japan condemn North Korean arms sales to Russia in joint statement

2023/11/2	South China Morning Post	Japan remembers China's ex-premier Li Keqiang as not seeing 'Japanese as evil'
2023/11/6	NK NEWS	US, South Korea and Japan to form council to counter North Korean cyber threats
2023/11/8	NK NEWS	G7 foreign ministers condemn alleged North Korean weapons sales to Russia
2023/11/9	NK NEWS	Why North Korea would supply Russia with short-range ballistic missiles
2023/11/22	NK NEWS	Russian VIP military jetliner flies to North Korea hours after satellite launch
2023/12/9	NK NEWS	US, ROK and Japan start real-time data sharing on North Korean missile launches
2023/12/31	NK NEWS	North Korea to launch three more spy satellites in 2024, Kim Jong Un says
2024/1/8	South China Morning Post	Japan's record defence budget, US Patriot missile deal rankle pacifists
2024/1/14	中央社 CNA	美智庫分析台灣選後情勢：中國胡蘿蔔棒子手段難料
2024/1/14	South China Morning Post	Russia's Putin 'giving Japan two fingers' with pledged trip to disputed islands
2024/1/20	South China Morning Post	As North Korea slams Japan troops' shrine trip, Seoul and China stay silent
2024/1/22	信濃毎日新聞デジタル	海から遠い佐久市と安全保障のつながりは 市内在住の研究者わかりやすく解説へ来月フォーラム
2024/1/29	South China Morning Post	Putin's proposed Pyongyang trip reveals Russia's growing reliance on North Korea
2024/2/2	The Japan Times	Japan starts 2024 with flurry of security deals
2024/2/9	thanhnien.vn	Tâm vóc Việt Nam giữa thế giới đầy thách thức
2024/2/12	South China Morning Post	Japan risks losing trust of US, other allies over its 'serious' cybersecurity flaws, minister warns
2024/2/19	South China Morning Post	'Natural' for Japan to play larger Aukus role, but likely not as partner

2024/2/22	South China Morning Post	Can Japan build ties with North Korea if Pyongyang avoids abduction issue?
2024/3/1	The Japan Times	New drone tech in spotlight as Japan eyes boosted capabilities
2024/3/19	South China Morning Post	Can a new South Korea-Japan agreement take bilateral ties to the next level?
2024/3/29	海上自衛隊幹部学校	海幹校戦略研究 第13巻第2号（通巻第27号）2024年3月▼ 山口亮 「Optimizing Joint Operational Readiness: Lessons for Japan」

⑤西山美久 特任助教

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/11/10	北海道文化放送	教室で銃を構える子どもたちー「実射訓練」 「欧米のSNSはフェイク」 “ロシアの学びや”で広まるプロパガンダ教育のいま
2024/3/18	時事ドットコム	侵攻正当化と締め付け続く ロシア大統領選・識者談話

⑥豊田耕平 連携研究員

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/5/8	新潮社 Foresight	イスラエル「対中東・東地中海外交」のカギ「リヴァイアサンガス田」の現在地：豊田耕平（会員記事）
2023/7/27	新潮社 Foresight	イラクが進める「欧州市場シフト」と石油開発での「中国一本化」
2023/10/24	新潮社 Foresight	「天然ガスハブ」の幻想を操るトルコ：豊田耕平
2024/1/2	新潮社 Foresight	東地中海ガス開発「政治主導」の脆弱さに加わる「イスラエル・ハマース戦争」：豊田耕平   立ち上がる中東エネルギー新秩序
2024/2/27	新潮社 Foresight	「中東非産油国」の水素ポテンシャルを引き出す欧州：ただし、その関係は真に「互恵的」なのか：豊田耕平

2024/3/1	日刊工業新聞	エネルギー解体新書（10）イラク新政権下の石油・ガス動向 （有料会員記事）
----------	--------	--

⑦田中祐真 特任研究員

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/10/16	新潮社 Foresight	いまロシア FSB が握る「ポスト・プーチン」のキーファクター：「大統領排除」が唯一可能な組織の影響力：田中祐真
2023/10/26	新潮社 Foresight	ナゴルノ・カラバフの「平定」と消滅：なぜ今、アゼルバイジャンは行動したのか
2023/11/22	新潮社 Foresight	ウクライナ EU 加盟への重要課題、「言語・民族問題」の歴史と現在
2024/2/20	ロシア NIS 調査 月報	ロシア NIS 調査月報 2024 年 3 月号 特集◆ロシア・ウクライナをめぐる地政学と地経学「調査レポート 2 年間の戦時体制下におけるウクライナ内政—ゼレンスキー政権の迎える試練—」
2024/3/15	新潮社 Foresight	軍総司令官解任から駐英大使任命へ、「ザルジニー人事」に垣間見える「チーム・ゼレンスキー」の不安と目算：田中祐真

⑧田中周 特任研究員

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/5/18	朝日新聞デジタル	中国と中央アジア 5 カ国、どんな関係？ 首脳会議で何が語られるのか（会員有料記事）

⑨松田拓也 特任研究員

日付	媒体	紙面、雑誌名
2023/11/7	NIKKEI Asia	Japan treads carefully as Israel-Hamas war tops home G7 agenda
2023/11/10	新潮社 Foresight	《イスラエル・ハマス大規模衝突》「アフガン、イラク泥沼化」の教訓は中東の戦火拡大を防げるか：松田拓也
2023/11/21	NIKKEI Asia	Red Sea ship hijacking delivers a warning on supply chain risks

2023/11/22	War on the Rocks	Rewind and Reconnoiter: The U.S.-Japanese-Korean Relationship with Takuya Matsuda and Jaehan Park - War on the Rocks
2023/12/20	Asia Pacific Initiative	イスラエル・ハマス戦争とアメリカの中東戦略（地経学ブリ－フィング・松田拓也）
2024/1/23	国際安全保障防衛センター（ICDS）	What to Do When Partners Share Threats and Challenges But Do Not Agree on Priorities?
2024/3/18	公研	『公研』2024年3月号▼「選挙イヤー」と二つの戦争 民主主義の選択は世界をどこに導くのか？（細谷雄一先生との対談）
2024/3/29	外交	外交 vol.84 2024年3/4月号▼ガザ紛争と米・イスラエル「特別な関係」の政治力学

### 3. 外国シンクタンク・有識者等との連携、ネットワークを通じた国際世論の醸成への貢献（若手人材の参画を含む）

#### **若手人材の育成**

本事業では、発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」、総合事業「自由・民主主義は何をもたらすことができるか」と連携しながら、研究能力、対外発信能力を育成すべく、パーマネントのポストを持たない若手の人材を積極的に登用しているほか、インターンの採用による次世代人材の発掘・育成を行なっている。とりわけ、本事業では主として以下のプログラムを実施した。

#### **(1) インターン制度の導入（3事業共通）**

本事業では、3か月ごとにインターンを採用しており、秋季インターン及び冬季インターンとして以下の9名を採用した。いずれも高い英語能力を有し、ROLES 助教・研究員の下で、調査研究支援や、国際ワークショップの企画運営に参画している。

平田 拓海 早稲田大学大学院政治学研究科修士課程

大木 有容 東京大学法学部第三類政治コース（秋季のみ）

林 奈都美 早稲田大学国際教養学部国際教養学科

宇野 真佑子 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻博士課程（秋季のみ）

長谷川 航太 早稲田大学大学院政治学研究科修士課程政治学専攻政治学コース  
 粕尾 瑞規 早稲田大学社会科学部社会科学科  
 小倉 夏子 東京大学公共政策大学院修士課程（冬季のみ）  
 平井 和実 慶應義塾大学 法学部政治学科（冬季のみ）  
 松浦 祐樹 東京大学教養学部教養学科総合社会科学分科国際関係論コース（冬季のみ）

### 外国シンクタンク・有識者等との連携及びネットワークを通じた国際世論の醸成

本事業では、上記目的を達成するため、（1）ROLES メンバーを中心とした外国有識者、シンクタンクとの意見交換、（2）外国有識者、シンクタンクとの非公開／小規模ワークショップの開催、を実施した。

#### (1) ROLES メンバーを中心とした外国有識者、シンクタンクとの意見交換

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2023/5/2	池内 恵	Gilad Majerowicz (IJCC イスラエル・日本商工会議所会頭)	日本・イスラエルの安全保障技術の民間部門での協力の促進のためのプラットフォームの形成について
2023/5/8	池内 恵	Jonathan H. Ferziger (Nonresident Senior Fellow, Atlantic Council)	日・イスラエル2国間関係および日・湾岸・イスラエル三極関係の課題と展望。
2023/5/22	池内 恵	Dr Nir Tsuk (New York University, Director of Institute for Impact & Intrapreneurship)	イスラエルのスタートアップ、エンタープレナーシップ、日本・イスラエルの経済関係について
2023/5/24	池内 恵	Dr. Hay Eytan Cohen Yanarocak (Turkey Expert, MDC of Tel Aviv University and JISS) 、 Fariz Rzayev (Deputy Foreign Minister of the Republic of Azerbaijan) 、 Mukhtar Mammadov	イスラエル・アゼルバイジャン関係、アゼルバイジャン・トルコ関係、アゼルバイジャン・ロシア関係

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
		(Ambassador of the Republic of Azerbaijan to Israel)	
2023/5/24	池内 恵	Dr. Brandon Friedman	イスラエル・サウジ関係
2023/5/28	池内 恵	Dr. Gedaliah Afterman (Head of the Asia Policy Program)	日・イスラエル関係、日・イスラエル・湾岸の三極関係、I2U2、Negev Forum の現状
2023/5/30	池内 恵	鎗木礼彦（三菱商事ドゥバイ支店長・中東地域代表）、和久利浩（三菱商事株式会社ドゥバイ支店・企画業務部・アシスタントマネジャー）、本田圭（三菱商事株式会社ドゥバイ支店・企画業務部・アシスタントマネジャー）	中東の地域統合の進展状況について、特にイスラエル・UAE の外交関係と、それが地域情勢に及ぼす影響について
2023/5/30	池内 恵	Mohammed Bahroon (General Director, B'huth, Dubai Public Policy Centre)、Usama Butt (B'huth)	中東地域安全保障協力機構 (MESAC Middle East Security and Cooperation) 計画について
2023/5/31	池内 恵	Sky News Arabia	日本・中東関係、中国問題の中東における受け止め方
2023/7/12	山口 亮	マーク・レゲブ（ライヒマン大学外交研究所長） 齋木昭隆（中東調査会理事長） 朝子清（中東調査会副理事長） 辻田俊哉（大阪大学准教授）	日本・イスラエルの戦略的関係について
2023/7/24	小泉悠	カテリーナ・ステパネンコ（米戦争研究所）	OSINT 手法・ウクライナ戦争の現況等
2023/7/24	池内恵	エリザベス・ディブル（多国籍部隊・監視団 (MFO) 事務局長）	MFO の活動について

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2023/9/23	池内 恵 小泉 悠	Necmettin Kizilkaya (Professor of Islamic Law & Economics of Istanbul University/Director of Center for Islamic Economics & Finance (ISIFAM)Fellow at iSAR)、Enes Tuzgen (Lecturer of Marmara University/ Fellow at iSAR)、Dr. Ercüment Asil (Lecturer of Ibn Haldun University, the Alliance of Civilizations Institute/Civilizational Research Department at Ibn Haldun University)、木村風雅（東京大学中東地域研究センター特任助教）	近代科学とイスラーム世界の歴史的・伝統的科学的融合について ワクフ（イスラーム寄進財団）による教育・研究機関の設立と運営について トルコに対する国際的な主要メディアの報道の問題について トルコ政府の教育・研究政策と財団による教育・研究の関係について トルコのアカデミック・フリーダムに関して
2023/9/23	池内 恵 小泉 悠	Dr. Talha Kose (Professor of International Relations, Istanbul University / Senior Researcher of Strategic Studies at SETA (Foundation for Political, Economic and Social Research))、木村風雅（東京大学中東地域研究センター特任助教）	ロシア・ウクライナ情勢の今後に関する分析 日本とトルコの対ウクライナ政策の相違について トルコ外交の「自律性」について トルコと米国・欧州の同盟関係について トルコと日本の対露関係について 日・トルコ協力、特に Turkish-Japanese Science and Technology University について
2023/9/24	池内 恵	笠原健一（在イスタンブール日本国総領事館総領事）、チャーリ・エルハン（アルトゥンバシュ大学	トルコ・エルドアン政権の対中東・対ロシア・対コーカサス・対NATO・対EU政策について

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
		学長）、セルチューク・エセンベル（ボアジチ大学名誉教授）	
2023/9/25	池内 恵	安尾亜紀（共同通信社イスタンブール支局員）、シナン・タウシャン（日本経済新聞社欧州編集総局イスタンブール支局記者）、高野裕介（朝日新聞社イスタンブール支局記者）	日本の対中東関与とトルコの中東地域における重要性について
2023/9/27	池内 恵	Oktay Tanrisever（Professor at METU-Turkey / Specialized in International Strategy, Regional Security, Energy and Environmental Diplomacy）	トルコの中東政策、トルコの NATO 政策、トルコの東欧・旧ソ連・CIS 政策について、トルコの 360 度外交の内実について
2023/9/27	池内 恵	Oktay Tanrisever（Professor at METU Specialized in International Strategy, Regional Security, Energy and Environmental Diplomacy）、川島真（東京大学大学院総合文化研究科教授）、遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）、岩間陽子（政策研究大学院大学教授）、東野敦子（筑波大学教授）、今井宏平（アジア経済研究所研究員・在アンカラ研究員・中東工科大学客員研究員）	トルコの NATO 政策、トルコの中・東欧政策

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2023/9/28	池内 恵	メスート・オズジャン（Mesut Ozcan, Chairman of Diplomacy Academy of the Ministry of Foreign Affairs of Turkey）、今井宏平（アジア経済研究所研究員・中東工科大学客員研究員）、岩間陽子（政策研究大学院大学教授）、遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）	トルコ的外交政策、トルコの中東政策に関するディスカッション
2023/9/28	池内 恵	セルハド・ヴァルリ部長（Serhad Varli, Head of Department, Center for Strategic Research, of Foreign Affairs of Turkey）、今井宏平（アジア経済研究所研究員・中東工科大学客員研究員）、遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）	トルコ的外交政策、日トルコ関係・日トルコ戦略対話の現状と課題、共同研究・共同出版の打ち合わせ
2023/9/28	池内 恵	Ahmet Uysal, Dircter (ORSAM)、Oytun Orhan (Coordinator, Levant Studies, ORSAM)、Gokhan Batu (Security Studies Coordinator, ORSAM)、Gokhan Erli (Gulf Studies Coordinator, ORSAM)、Kaan Devecioglu ( North African Studies Expert, ORSAM)	トルコの対中東・アフリカ政策と、紅海沿岸地域への関与の動向、アラブ諸国の内政状況と地域国際政治に関する総合的分析

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2023/9/28	池内 恵	Murat Yesiltas, Director (Foreign Policy Research of SETA / Professor at the Department of International Relations at Ankara Social Sciences University) 、 Murat Aslan (Researcher of SETA / Faculty member at Hasan Kalyoncu University) 、今井宏平 (アジア経済研究所研究員・中東工科大学客員研究員) 、岩間陽子 (政策研究大学院大学教授) 、遠藤乾 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)	トルコ的外交政策の背景と目的、意思決定過程についての見解の聴取を行った。
2023/9/29	池内 恵	ゲダリア・アフターマン (ライヒマン大学・アバ・エバン (外交国際問題研究所アジア政策プログラム長) 、大庭三枝 (神奈川大学教授)	中東と東アジアの地域主義の比較と関連について
2023/9/29	池内 恵	ゲダリア・アフターマン (ライヒマン大学アバ・エバン外交国際問題研究所アジア政策プログラム長) 稲見昌彦 (東京大学先端科学技術研究センター教授)	日・イスラエル・UAE の科学技術を介した外交的協調について
2023/9/29	池内 恵	Paolo Girardelli, Professor (Department of History, Boğaziçi University)	トルコにおけるカソリック・修道会の政治・社会・文化的な影響力について。トルコにおける日本関係建築の重要性について
2023/9/29	池内 恵	İLHAN KARASUBAŞI (Lecturer of the Faculty of Language,	イタリア・トルコ関係について

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
		History and Geography, Ankara University)	
2023/9/29	池内 恵	Mürsel DOĞRU (Assistant Professor at the National Defence University of Turkey)	トルコの安全保障政策と日本のインド太平洋政策の連関
2023/10/1	池内 恵	Dr. Jagannath Panda (Head of the Stockholm Centre for South Asian and Indo-Pacific Affairs at ISDP)、Dr. Dattesh Parulekar (Assistant Professor, Goa University)、Dr. R Srinivasan (Editor-in-Chief, EJSSS)	Bharat-Japan Indic Dialogue において、Japan's National Security Strategy and Concerns over Taiwan についての意見交換。インドの対露権益とインド・日本関係の相剋について。 日本の FOIP と、インドの INSTC (International North-South Transport Corridor)、米欧・湾岸・イスラエルの IMEC (India Middle East Europe Corridor) の関係について。
2023/10/2	池内 恵	Ercan Çitlioğlu (バシュケント大学戦略調査センター学事顧問・イスタンブール安全保障会議主催者)	トルコを中心とした中東地域秩序について
2023/10/3	池内 恵	George Jiuzhou Duan (段九州) (Research Assistant Professor in political science at Tsinghua University / Visiting Fellow, Middle East Technical University 中東工科大学)	中国の対トルコ関係、中国の中東政策について。
2023/10/3	池内 恵	Kaan Cumalioglu (Chief Operating Officer)	トルコ語出版市場における日本の外交・安全保障に関する情報発信について

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2023/10/5	池内 恵	Dogac Gursel (Manager, Regional Strategy & Business Development-Corporate, Ankara Branch of Mitsubishi Corporation)	アンカラの政府機関とシンクタンク の関係の最新動向について
2023/10/5	池内 恵	東突クルトゥク (Dr. Lect. Higashitotsu KUTLUK アンカラ社会科学大学講師 Lecturer of the Faculty of Foreign Languages, Social Sciences University of Ankara)	トルコのウイグル政策、トルコ・ 中国関係とチュルク系少数民族
2023/10/11	池内 恵	ベキル・サーミ・ユルバシュ（ト ルコ日本科学技術大学学長）、三 原久和（トルコ日本科学技術大学 筆頭副学長）、稲見昌彦（東京大 学先端科学技術研究センター教 授）	日本・トルコの科学技術外交にお ける VR とロボティクス
2023/10/16- 17	池内 恵	Usama Butt（イスラーム戦略研究 所所長）	ドバイ CSBM 非公開会合への参 加
2023/10/18	池内 恵	ブレンドン・キャノン（ハリーフ ァ大学助教授）	UAE のイスラエル・ハマース紛争 に対する立場
2023/10/19	池内 恵	サイイド・ゴネイム（グローバル セキュリティ防衛研究所所長）	UAE とエジプトのイスラエル・ハ マース紛争に対する立場
2023/10/23	小泉 悠	Patrick McEachern（在日米大使 館報道官補）	ロシアのウクライナ侵略、中国の 情報戦、北朝鮮のミサイル等につ いて意見交換
2023/10/26	池内 恵	Yuki Kaneko Gogus (Instructor, Sabanci University)	日本・トルコの科学技術協力につ いて

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2023/10/26	池内 恵	ベキル・サミ・ユルバス（TJU 学 長）、三原久和（TJU プロポスト 筆頭副学長）、富田麻美子 （Advisor to Provost  JICA Expert）	日本・トルコの科学技術協力に関 して
2023/10/27	池内 恵	アラシ・ネフトジ（イスタンブー ル工科大学 ITU 准教授）	日本・トルコの国交百周年に際し ての戦略的な情報発信・文化交流 について
2023/11/2	池内 恵	セルチュク・エセンベル（ボアジ チ大学名誉教授）	日本・トルコの戦略対話について 日・トルコ国交百周年に際しての 関係強化について
2023/11/6	池内 恵	ザイド・エヤダート（ヨルダン大 学戦略研究所長）	日本・ヨルダンの、イスラエル・ パレスチナ和平に関する協力につ いて
2023/11/22	西山 美久 田中 祐真	ドスム・サトパエフ（Kazakhstan Risks Assessment Group 社長）	ロシアのウクライナ侵攻後におけ るカザフスタンの政治・経済・社 会情勢の変化
2023/11/22	西山 美久 田中 祐真	ダナ・イェルメノヴァ（豊田通商 アルマティ事務所プロジェクトマ ネージャ）	ロシアのウクライナ侵攻に対する カザフスタンの社会意識
2023/11/24	西山 美久 田中 祐真	ジャーナルベク・ジャナバエフ（カ ザフスタン共和国大統領付属カザ フスタン戦略研究所長顧問）、ミ ラス・ジエンバエフ（カザフスタ ン共和国大統領付属カザフスタン 戦略研究所欧州・米州研究局主任 研究員）	ロシアによるウクライナ侵攻のカ ザフスタンの政治・経済・社会情 勢
2023/11/25	西山 美久 田中 祐真	セルゲイ・コノヴァロフ（現代政 治研究所長）	カザフスタン文化、日本・カザフ スタンの今後の協力の方向性

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2023/11/28	西山 美久 田中 祐真	ボブール・ムハメドフ（東電設計（TEPSCO）海外事業本部海外総括部営業グループ中央アジア・コーカサス・バルカン・プロジェクトコーディネーター）	ウズベキスタン電力情勢及び諸外国からの投資情勢
2023/11/30	西山 美久 田中 祐真	ナルギザ・ムラタリエヴァ（中央アジア・アメリカン大学准教授）	ロシア・ウクライナ戦争後のキルギス内政、中央アジア情勢全般
2023/11/30	西山 美久 田中 祐真	サマコワ・イバラット（NHT 取締役）、板垣亮太（職員）	キルギスにける NHT 社の事業内容
2023/12/1	西山 美久 田中 祐真	エセン・ウスバリエフ（ウスバリエフ基金付属国際政治研究所代表）	ロシア・ウクライナ戦争下における中央アジア諸国の動向、キルギスの社会情勢
2024/3/5	池内 恵	ハマド・アルアブドラ（バーレーン戦略・国際・エネルギー研究センター（DERASAT）所長 歴史研究、政策、政府関係担当）、アブドラ アルアッバシ（DERASAT エネルギー・環境プログラムディレクター ネット・ゼロ・エミッション、カーボン・ニュートラル、持続可能性、再生可能エネルギー担当）、池内 恵（東京大学先端科学技術研究センター教授・ROLES 代表）	日本と湾岸産油国の外交・安全保障シンクタンクの協力に関する打ち合わせ、中東地域秩序の変動とガザ情勢の分析

実施日	実施者	対象者氏名（所属）	ヒアリング内容
2024/3/5	池内 恵	ハマド・アルアブドラ（バーレーン戦略・国際・エネルギー研究センター（DERASAT）所長 歴史研究、政策、政府関係担当）、アブドラ アルアッバシ（DERASAT エネルギー・環境プログラムディレクター ネット・ゼロ・エミッション、カーボン・ニュートラル、持続可能性、再生可能エネルギー担当）、杉山正和（先端科学技術研究センター所長）、池内 恵（東京大学先端科学技術研究センター教授・ROLES 代表）、豊田耕平（JOGMEC 調査部）、国末憲人（東京大学先端科学技術研究センター特任教授）	日本と湾岸産油国のゼロ・エミッション政策のすり合わせの可能性

## (2) 外国有識者、シンクタンクとの非公開／小規模ワークショップの開催

本事業が単独または「国際理念と秩序の潮流」「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」と連携して実施した非公開ないし小規模のワークショップ／セミナーは以下の通り。

日時	イベント名	参加者（所属）	形式	備考	事前登録	当日参加
2023/9/26	<a href="#">日本・トルコ戦略対話</a> <a href="#">「ウクライナ戦争と国際秩序の未来：日本とトルコの視野と構想」</a> ※本イベントは招待者のみ参加	池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）、今井宏平（日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員/中東工科大学客員研究員）、岩間陽子（政策研究大学院大学教授）、遠藤乾（東京大学大学院法学政治学研究科教授）、川島真（東京大学大学院総合文化研究科教授）、東野篤子（筑波大学大学院人文社会科学研究科教授）、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター専任講師）、鈴木一人（東京大学公共政策大学院教授）、早丸一真（東京大学先端科学技術研究センター・特任助教）、木村風雅（東京大学中東地域研究センター）、豊田耕平（東京大学先端科学技術	対面	「国際理念と秩序の潮流」 「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」との合同開催	-	30

日時	イベント名	参加者（所属）	形式	備考	事前登録	当日参加
		研究センター連携研究員）、ヒュセイ ン・バージュ、メリ ハ・アルトゥンウシ ュク、バハドウル・ ペフリヴァントウル ク、ハルドゥーン・ ヤルジュンカヤ、ミ タット・ジェリクパ ラ、ムラト・デミレ ル、井上貴文、ドア チ・ギュルセル、勝 亦孝彦、大使館政務 班 6名				
2023/10/22	<a href="#">東京・エルサレム国際ワークショップ：近代以前のイスラーム教におけるクルアーンの遺産と思想史の課題</a>	ハンネリス・コロスカ（エルサレム・ヘブライ大学人文学部比較宗教学科）、山城貢司（東京大学先端科学技術研究センター）、タニヤ・ヴェルトマン（エルサレム・ヘブライ大学人文学部ユダヤ思想学科）、ミハエル・エブスタイン（エルサレム・ヘブライ大学人文学部アラビア	ハイブリッド	分科会 「中東・イスラーム世界の多極化と均衡」を中心に実施	23	-

日時	イベント名	参加者（所属）	形式	備考	事前登録	当日参加
		語・アラブ文学科/ イスラーム学・中東 学科）、木村風雅 （東京大学中東地域 研究センター）、メ イル・バルアシェル （エルサレム・ヘブ ライ大学人文学部ア ラビア語・アラブ文 学科教授）				
2023/11/9	<a href="#">国際ワークショップ：19 世紀の清王朝と「近代」 ー 19 世紀後半の東アジ アと西洋</a>	川島真（東京大学大 学院総合文化研究科 教授）、トーマス・ バレット（英ケンブ リッジ大学アジア・ 中東学部・ポストド クトラル研究員）、 早丸一真（東京大学 先端科学技術研究セ ンター特任助教）、 福岡万里子（国立歴 史民俗博物館研究部 歴史研究系・総合研 究大学院大学准教 授）、五百旗頭薫 （東京大学大学院法 学政治学研究科教 授）	対面	分科会 「ユーラ シア諸地 域の内在 論理」を 中心に実 施	26	27

日時	イベント名	参加者（所属）	形式	備考	事前登録	当日参加
2023/12/4	<a href="#">国際ワークショップ「米中対立の中のインドネシアーその「内在論理」を考える」</a>	Marcus Mietzner （オーストラリア国立大学・准教授）、 鈴木絢女（同志社大学・教授）、岡本正明（京都大学・教授）	対面	分科会 「ユーラシア諸地域の内在論理」を中心に実施	20	11
2023/12/8	<a href="#">セミナー「イスタンブルにおける近代日本外交の来歴」</a>	池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授） ジラルデッリ青木美由紀（イスタンブル工科大学建築学部建築学科助教授） 渡邊英徳（東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授）	対面	分科会 「中東・イスラーム世界の多極化と均衡」を中心に実施	32	27
2024/1/16	<a href="#">RCAST セキュリティ・セミナー“the War in Ukraine in its 3rd Year ”</a>	Michael Kofman （Senior Fellow in the Russia and Eurasia Program at the Carnegie Endowment for International Peace）、小泉悠 （東京大学先端科学技術研究センター准教授）、松田拓也 （東大先端研 ROLES	対面	分科会 「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展開・帰結」を中心に 「RCAST セキュリティセミ	-	-

日時	イベント名	参加者（所属）	形式	備考	事前登録	当日参加
		特任研究員)、池内 恵（東京大学先端科 学技術研究センター 教授）		ナー」シ リーズと して実施 実施		
2024/1/24	<a href="#">RCAST セキュリティ・ セミナー「ガザ戦争の後 の中東の未来」</a>	ザイド・イヤード ト（ヨルダン大学教 授・同大学戦略研究 所長）、池内恵（東 京大学先端科学技術 研究センター教授）	対面	分科会 「中東・ イスラ ム世界の 多極化と 均衡」を 中心に 「RCAST セキュリ ティセミ ナー」シ リーズと して実施	19	12
2024/2/15	<a href="#">国際セミナー “Changes in Thai politics and administration, and its future prospect”（タ イ政治と行政の変化、 その将来的展望につ いて）</a>	外山文子（筑波大学 人文社会系准教 授）、ワサン・ルア ンプラパット（タム マサート大学政治学 部 准教授）、プラ ウィット・ワタナス ック（タムマサート 大学政治学部 講	対面	分科会 「ユーラ シア諸地 域の内在 論理」と 「自由民 主主義秩 序を支え る情報プ	-	10

日時	イベント名	参加者（所属）	形式	備考	事前登録	当日参加
		師）、カムラングパ ット・チャチャダー （公共政策大学院大 学博士課程）、永井 史男（大阪公立大 学）、一般参加者 5 名の計 10 名		ラットフ ォームの 構築」タ スクフォ ース「自 由・民主 主義分析 の実証的 方法と応 用」と合 同開催		
2024/2/16	<a href="#">国際セミナー「イスタン ブルにおける建築と外 交」</a>	ジラルデッリ青木美 由紀（イスタンブル 工科大学助教授）、 池内恵（東京大学先 端科学技術研究セン ター教授）、バイラ ム・オズトゥルク （イスタンブル大学 教授）、パオロ・ジ ラルデッリ（ボアジ チ大学教授）	対面	分科会 「中東・ イスラー ム世界の 多極化と 均衡」を 中心に実 施	-	-
2024/3/22	<a href="#">RCAST セキュリティ・ セミナー「ウクライナ侵 略におけるロシアによる アクティブ・メジャー ズ」</a>	トマス・リッド（ジ ョーンズ・ホプキンス 大学高等国際問題研 究大学院戦略学教 授）、小泉悠（東京 大学先端科学技術研	対面	「RCAST セキュリ ティセミ ナー」シ リーズと して実施	24	22

日時	イベント名	参加者（所属）	形式	備考	事前登録	当日参加
		究センター准教授・ROLES 副代表)				

#### 4. 国際的な議論を先導するシンポジウムの開催

本事業が単独または「国際理念と秩序の潮流」「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」と連携して実施した国際シンポジウムは以下の通り。

日時	イベント名	講演者（所属）	形式	備考	事前登録	当日参加
2023/7/10	<a href="#">特別講演会「アブラハム合意後の中東：UAE、サウジアラビア、イラン、そして地域におけるイスラエルの新たな役割」</a>	マーク・レグブ（ライヒマン大学アバ・エバン外交国際問題研究所所長、元イスラエル駐英大使、元ネタニヤフ首相上級外交顧問）	ハイブリッド	本事業共通の活動として実施	111	107
2023/9/24	<a href="#">イスタンブール公開講演会：戦間期の中国・トルコ・テュルク世界と日本</a>	池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授・ROLES 代表）、川島真（東京大学大学院総合文化研究科教授）、熊倉潤（法政大学教授）、セルチューク・エセンベル（ボアズィチ大学名誉教授）、エルダル・キュチュクヤルジュン（ボアズィチ大学講師）、アハマド・ヤアクーブ（イス	対面	本事業共通の活動として実施	100	約40名

		タンブール大学イスラム 学研究所助教授)				
2023/9/25	<u>イスタンブール公開 シンポジウム：「ウ クライナ戦争の挑戦 ーそれは世界に何 をもたらしたのか、 日本とトルコに何が できるのか」</u>	池内恵（東京大学先端科 学技術研究センター教 授）、東野篤子（筑波大 学大学院人文社会科学研 究科教授）、小泉悠（東 京大学先端科学技術研究 センター専任講師）、岩 間陽子（政策研究大学院 大学教授）、鈴木一人 （東京大学公共政策大学 院教授）、遠藤乾（東京 大学大学院法学政治学研 究科教授）、今井宏平 （日本貿易振興機構アジ ア経済研究所研究員）、 チャール・エルハン（ア ルトウンバシュ大学学 長）、タルハ・キョゼ （イブン・ハルドゥーン 大学准教授/SETA 上級 研究員）	対面	「国際 理念と 秩序の 潮流」 「自由 民主主 義秩序 を支え る情報 プラッ トフォ ームの 構築」 との合 同開催	91	約 25 名
2023/11/30	<u><a href="#">ブライアン・ブラン ケンシップ “The Burden-Sharing Dilemma: Coercive</a></u>	ブライアン・ブランケン シップ(マイアミ大学政 治学部助教授)	ZOOM ウェビ ナー	本事業 共通の 活動と	67	59

	<a href="#">Diplomacy in US Alliance Politics</a> <a href="#">(「負担分担」のジレンマ: アメリカの同盟政治と強制外交)</a> <a href="#">”刊行記念ウェビナー</a>	松田拓也 (東大先端研 ROLES 特任研究員)		して実施		
2023/12/13	<a href="#">ファクトチェック国際シンポジウム 「認知領域安全保障のためにファクトチェックには何ができるか？」</a>	小泉悠 (東京大学先端科学技術研究センター准教授)、陣内一樹 (Code for Japan 副代表理事)、高森雅和 (株式会社 Dafna 社長、株式会社 Japan Nexus Intelligence)、Osnat MOKRYN (ハーバード大学客員研究員、ハイフア大学終身上級講師)、Itai JONAT (Intercept 9500 Ltd 創設者兼 CEO)、游知澁 (一橋大学グローバル・ガバナンス研究センター法学研究科客員研究員、台湾情報環境研究センター (IORG) 共同ディレクター)、栗原響子 (日本国際問題研究所研究員)、田和樹 (作家、明治大学サイバーセキュリティ研究所客員研究員)	ハイブリッド	分科会 「情報・認知領域の安全保障」及び 「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」のタスクフォース 「言説空間分析の文理横断的方法と応	36	25

				用」と の合同 開催		
--	--	--	--	------------------	--	--

### 3-2 事業の実施状況・成果の定量的概要

#### 【調査】

- ・情報収集・調査実施回数：158回（研究会合＋ヒアリング）

#### 【会議】

- ・研究会の実施数：37回
- ・シンポジウム／セミナー／ワークショップ等の主催・共催数：14回
- ・他団体主催のシンポジウム／セミナー／ワークショップ等への参加数：75回  
(ROLESメンバーによる参加回数も併せて集計)

#### 【情報発信】

- ・インタビューや報道発表の実施数：380回（ROLESメンバーによるもののみ集計／ROLESで実施している他の事業と合計）
- ・論文やコメントリーの発出数：12回
- ・政策提言を含む報告書の発出数：2回
- ・学術誌の発行：0回
- ・動画公開：5回

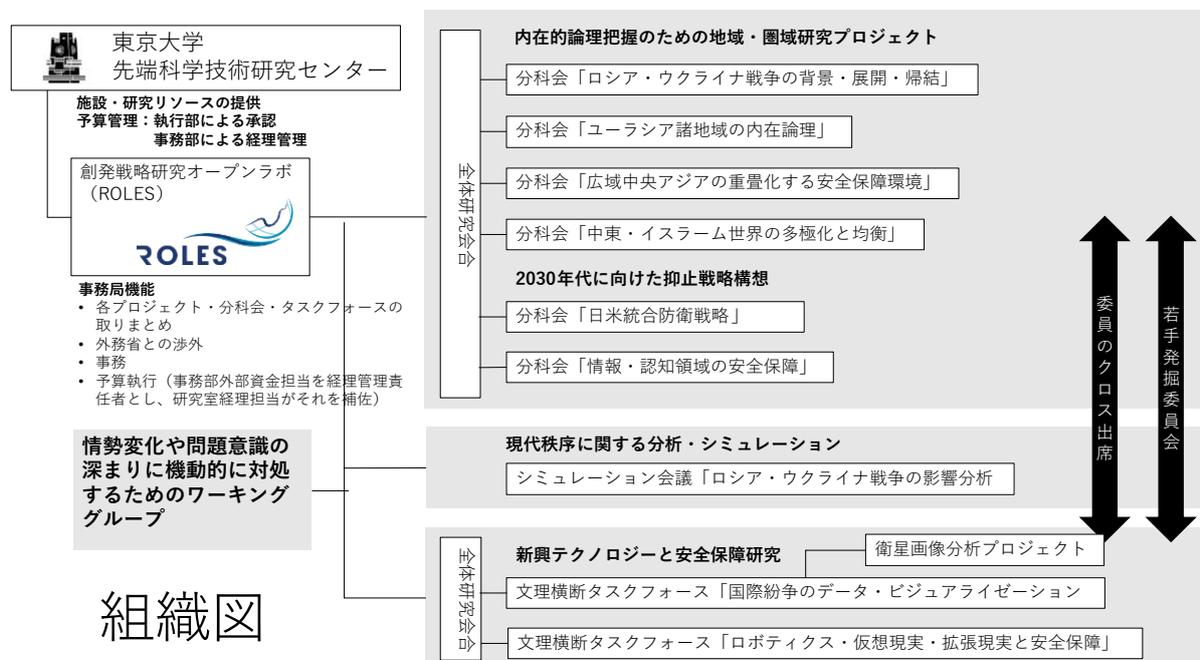
URLは3-1「イベントのメディア掲載」「ROLESウェブサイトを通じた発信」に記載済み。

### 4-1 事業実施体制

## 1 組織図（自由書式）

※ 複数の分科会／研究会が設けられている場合は、それらが有機的に連携するためのどのような体制が取られているか明示すること。

※ 予算の執行・管理体制を明示すること。



## 2 メンバー詳細

事業総括、グループリーダー、研究担当、渉外担当、経理担当等の別	氏名	所属機関・部局・職	役割
<b>事務局 (ROLES)</b>			
事業総括	池内恵	東京大学先端科学技術研究センター教授	事業全体の総括（事業全体の企画・管理等）
副事業総括	小泉悠	東京大学先端科学技術研究センター准教授	事業全体の副総括（特に担当分科会の企画・進捗管理と国内向け発信）
副事業総括	山口亮	東京大学先端科学技術研究センター特任助教	事業全体の副総括（特に担当分科会の企画・進捗管理と国外向け発信）
渉外・経理（グループリーダー）	伊藤和歌子	東京大学先端科学技術研究センター シニアプログラム・コーディネーター	渉外及び経理の総括
経理	表真琴	東京大学先端科学技術研究センター事務補佐員	経理に関わる実務

広報 (グループリーダー)	鍛冶一郎	東京大学先端科学技術 研究センター特任研究 員	アウトリーチ活動に関わ る実務
広報	田中周	東京大学先端科学技術 研究センター特任研究 員	アウトリーチ活動に関わ る実務
広報	松田拓也	東京大学先端科学技術 研究センター特任研究 員	ウェブサイト管理等対外 広報に関わる実務
広報	金子美和	東京大学先端科学技術 研究センター事務補佐 員	アウトリーチ活動に関わ る庶務
連絡調整 (グループリーダー)	立田由紀恵	東京大学先端科学技術 研究センター特任研究 員	事業メンバー・学内との 連絡・調整
連絡調整	狩野希望	東京大学先端科学技術 研究センター協力研究 員	事業メンバーとの連絡・ 調整
連絡調整	西山美久	東京大学先端科学技術 研究センター特任助教	事業メンバー・学内との 連絡・調整
連絡調整	田中祐真	東京大学先端科学技術 研究センター特任研究 員	事業メンバー・学内との 連絡・調整
連絡調整	早丸一真	東京大学先端科学技術 研究センター特任助教	庶務の管理及びインター ン生統括
<b>分科会 「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展開・帰結」</b>			
座長	小泉悠	東京大学先端科学技術 研究センター准教授	ロシア・ウクライナの軍 事・安全保障政策研究
幹事	田中祐真	東京大学先端科学技術 研究センター特任研究 員	ウクライナの国内情勢研 究
研究担当	山添博史	防衛省防衛研究所地域 研究部主任研究官	ロシアの軍事・安全保障 政策研究
研究担当	長谷川雄之	防衛省防衛研究所地域 研究部研究員	ロシアの軍事・安全保障 政策研究
研究担当	西山美久	東京大学先端科学技術 研究センター特任助教	ロシアのナショナリズム 研究
研究担当	浜由樹子	静岡県立大学国際関係 学研究科准教授	ロシア思想研究
研究担当	麻田雅文	岩手大学人文社会科学 部准教授	ロシア史研究
研究担当	服部倫卓	北海道大学スラブ・ユ ーラシア研究センター 教授	ロシア・ウクライナ・ベ ラルーシの経済・産業研 究
研究担当	大串敦	慶應義塾大学法学部政 治学科教授	ロシア・ウクライナの内 政研究

研究担当	岡部芳彦	神戸学院大学経済学部 教授	ウクライナの内政研究
研究担当	松壽英也	津田塾大学学芸学部講 師	ウクライナの軍事・安全 保障政策研究
研究担当	東野篤子	筑波大学人文社会系教 授	ウクライナと EU の対外 政策研究
研究担当	合六強	慶應義塾大学総合政策 学部准教授	欧州・ロシア・ウクライ ナ関係研究
研究担当	山口亮	東京大学先端科学技術 研究センター特任助教	インド太平洋の安全保障 研究
研究担当	松尾豪	合同会社エネルギー経 済社会研究所 代表取 締役	エネルギー、電力の市場 や政策に関する知見の提 供、調査研究、発信等
研究担当	原田大輔	独立行政法人エネルギ ー・金属鉱物資源機構 調査部調査課長	エネルギー安全保障研究
<b>分科会 「ユーラシア諸地域の内在論理」</b>			
座長	川島真	東京大学大学院総合文 化研究科教授	中国の内政・外交研究
幹事・研究担当	早丸一真	東京大学先端科学技術 研究センター特任助教	歴史的観点から見た中国 外交に関する知見の提 供、調査研究、発信等
幹事・研究担当	伊藤和歌子	東京大学先端科学技術 研究センター シニア・プログラム・ コーディネーター	中国の科学技術研究
研究担当	小泉悠	東京大学先端科学技術 研究センター准教授	ロシアの軍事・安全保障 政策研究
研究担当	松田康博	東京大学東洋文化研究 所教授	中国・国際関係研究
研究担当	山口信治	防衛研究所地域研究部 主任研究官	中国の軍事・安全保障政 策研究
研究担当	岡本隆司	京都府立大学文学部教 授	中国史研究
研究担当	鈴木隆	大東文化大学東洋研究 所教授	中国内政研究
研究担当	家永真幸	東京女子大学現代教養 学部准教授	台湾外交研究
研究担当	宮本悟	聖学院大学政治経済学 部教授	北朝鮮内政研究
研究担当	田中周	東京大学先端科学技術 研究センター特任研究 員	新疆ウイグル・中央アジ ア研究
研究担当	西山美久	東京大学先端科学技術 研究センター特任助教	ロシアの記憶政治、歴史 認識

研究担当	鈴木絢女	同志社大学法学部・法学研究科教授	東南アジア政治研究
研究担当	日下渉	東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授	フィリピン・東南アジア政治研究
研究担当	青木まき	アジア経済研究所地域研究センター・動向分析研究グループ長代理	タイ・東南アジア政治研究
研究担当	中西嘉宏	京都大学大学院アジア・アフリカ研究研究科准教授	ミャンマー・東南アジア研究
研究担当	岡本正明	京都大学東南アジア地域研究研究所教授	インドネシア・東南アジア政治研究
<b>分科会 「広域中央アジアの重畳化する安全保障環境」</b>			
座長	稲垣文昭	秋田大学大学院国際資源学研究科教授	研究プロジェクトの取りまとめ、地政学からみる中央アジア
副座長・幹事・研究担当	田中周	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	中国と中央アジアの反テロ協力
研究担当	伊藤庄一	一般財団法人日本エネルギー経済研究所資源・燃料・エネルギー安全保障ユニット上級スペシャリスト	中央アジアのエネルギー安全保障
研究担当	加藤美保子	広島市立大学広島平和研究所講師	ロシアの対中央アジア戦略
研究担当	齋藤竜太	ロシア NIS 貿易会ロシア NIS 経済研究所研究員	中央アジアにおける輸送回廊の建設、海洋安全保障
研究担当	周源	神戸大学大学院法学研究科研究助手	中国の対中央アジア認識
研究担当	スルトノフ・ミルゾサイド	東洋大学国際学部教授	中央アジアの経済安全保障
研究担当	田中マリア	秋田大学大学院国際資源学研究科特任助教	シルクロード経済ベルトと中国の安全保障戦略
研究担当	山口信治	防衛研究所地域研究部主任研究官	中国の対中央アジア軍事外交
研究担当	渡邊三津子	文教大学国際学部准教授	中央アジアの環境安全保障
<b>分科会 「中東・イスラーム世界の多極化と均衡」</b>			
座長	池内恵	東京大学先端科学技術研究センター教授	イスラーム思想・中東政治研究
研究担当	菊地達也	東京大学大学院人文社会系研究科教授	イスラーム思想・中東政治研究

研究担当	柿崎正樹	テンプル大学ジャパン キャンパス上級准教授	トルコ・中東政治研究
研究担当	今井宏平	アジア経済研究所海外 派遣員	トルコ・中東政治研究
研究担当	池田明史	東洋英和女学院大学学 事顧問	イスラエル・中東政治研 究
研究担当	辻田俊哉	大阪大学 CO デザイン センター准教授	イスラエル・中東政治研 究
研究担当	吉岡明子	日本エネルギー経済研 究所中東研究センター 研究主幹	イラク・中東政治研究
研究担当	鈴木均	アジア経済研究所地域 研究センター グロー バル研究グループ・ 上席主任研究員	イラン・アフガニスタン 研究
研究担当	小林周	日本エネルギー経済研 究所中東研究センター 主任研究員	リビア・北アフリカ政治 研究
幹事・研究担当	立田由紀恵	東京大学先端科学技術 研究センター特任研究 員	バルカン・イスラーム研 究
研究担当	田中周	東京大学先端科学技術 研究センター特任研究 員	広域中央アジア研究
研究担当	狩野希望	東京大学先端科学技術 研究センター連携研究 員	イスラーム思想研究
研究担当	豊田耕平	東京大学先端科学技術 研究センター連携研究 員	エネルギー安全保障研究
研究担当	岩瀬昇	エネルギーアナリスト	エネルギー安全保障研究
研究担当	齋藤純	アジア経済研究所地域 研究センター中東研究 グループ	中東経済研究
<b>分科会 「日米統合防衛戦略」</b>			
座長	村野将	ハドソン研究所研究員	座長及び米国の軍事・安 全保障研究
幹事	松田拓也	東京大学先端科学技術 研究センター特任研究 員	座長補佐
研究担当	Timothy A. Walton	Senior Fellow, Hudson Institute	現行の防衛力整備計画の 客観的分析のための指標 確立への知見提供

研究担当	Bryan Clark	Director, Center for Defense Concepts and Technology, Hudson Institute	現行の防衛力整備計画の客観的分析のための指標確立への知見提供
研究担当	Becca Wasser	Senior Fellow, Center for New American Security	現行の防衛力整備計画の客観的分析のための指標確立への知見提供
研究担当	岩田清文	元陸上幕僚長	上記指標確立のための陸上自衛隊からの知見提供
研究担当	武井智久	元海上幕僚長	上記指標確立のための海上自衛隊からの知見提供
研究担当	尾上定正	元空将	上記指標確立のための航空自衛隊からの知見提供
副座長	小泉悠	東京大学先端科学技術研究センター講師	ロシアの軍事・安全保障政策研究
研究担当	山口亮	東京大学先端科学技術研究センター特任助教	インド太平洋地域に関する安全保障政策研究
<b>分科会 「情報・認知領域の安全保障」</b>			
座長	小泉悠	東京大学先端科学技術研究センター准教授	ロシアの軍事安全保障政策研究
研究担当	栗原響子	日本国際問題研究所研究員	情報安全保障政策の研究
幹事・研究担当	田中祐真	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	ウクライナの軍事安全保障政策研究
研究担当	高森雅和	株式会社 Dafna 代表	情報安全保障政策の研究
研究担当	中井遼	北九州市立大学准教授	バルト・欧州諸国における情報安全保障政策の研究
研究担当	松本充豊	京都女子大学現代社会学部教授	台湾における情報安全保障政策の研究
<b>シミュレーション会議 「ロシア・ウクライナ戦争の影響分析」</b>			
座長	小泉悠	東京大学先端科学技術研究センター准教授	ロシア政治・安全保障研究
研究担当	東野篤子	筑波大学人文社会系教授	欧州の安全保障政策
研究担当	池内恵	東京大学先端科学技術研究センター教授	中東の地域情勢
研究担当	岩間陽子	政策研究大学院大学教授	欧州の安全保障政策
研究担当	村野将	ハドソン研究所研究員	米国の安全保障政策

研究担当	鈴木一人	東京大学公共政策大学院教授	国際経済
研究担当	山口亮	東京大学先端科学技術研究センター特任助教	インド太平洋安全保障研究
<b>文理横断タスクフォース 「国際紛争のデータ・ビジュアライゼーション」</b>			
座長	渡邊英徳	東京大学大学院情報学環・学祭情報学府教授	情報工学研究
共同座長	小泉悠	東京大学先端科学技術研究センター准教授	テクノロジーと安全保障に関する研究
幹事・研究担当	指原佑佳	東京工業大学環境・社会理工学院修士課程	情報工学研究
幹事・研究担当	田中祐真	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	ウクライナの国内情勢研究
研究担当	池内恵	東京大学先端科学技術研究センター教授	イスラーム思想・中東政治研究
サブグループ「衛星画像分析プロジェクト」			
座長	小泉悠	東京大学先端科学技術研究センター准教授	テクノロジーと安全保障に関する研究
研究担当	山口亮	東京大学先端科学技術研究センター特任助教	インド太平洋安全保障研究
幹事	田中祐真	東京大学先端科学技術研究センター特任研究員	ウクライナの軍事安全保障政策研究
研究担当	村野将	ハドソン研究所研究員	米国安全保障研究
研究担当	秋山信将	一橋大学国際・公共政策大学院教授	軍備管理・軍縮・安全保障・国際政治研究
研究担当	栗田真広	防衛研究所特別研究官（政策シミュレーション）付政策シミュレーション室主任研究官	核戦略抑止理論研究
研究担当	北原大介	NEC/JEOSS	衛星画像取得・分析
研究担当	大和純	NEC/JEOSS	衛星画像取得・分析
研究担当	小原凡司	笹川平和財団安全保障研究グループ上席フェロー	中国政治・安全保障研究
研究担当	高橋杉雄	防衛研究所政策研究部防衛政策研究室長	国際安全保障研究
研究担当	井上智太郎	共同通信社外信部副部長	国際安全保障研究
研究担当	古川勝久	自営業コンサルタント・著述業	国際安全保障研究
<b>文理横断タスクフォース 「ロボティクス・仮想現実・拡張現実と安全保障」</b>			

座長	稲見昌彦	東京大学先端科学技術 研究センター教授	ロボティクス・情報工学 研究
研究担当	門内靖明	東京大学先端科学技術 研究センター准教授	ロボティクス・情報工学 研究
研究担当	池内恵	東京大学先端科学技術 研究センター教授	イスラーム思想・中東政 治研究
研究担当	小泉悠	東京大学先端科学技術 研究センター講師	テクノロジーと安全保障 に関する研究
研究担当	稲見研究室メンバー	調整中（2・3名）	ロボティクス・情報工学 研究